

(様式第10)

6医大病第709号

令和6年10月4日

厚生労働大臣 殿

開設者名 公立大学法人福島県立医科大学
理事長 竹之下 誠一

福島県立医科大学附属病院病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
氏名	公立大学法人福島県立医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

公立大学法人福島県立医科大学附属病院

3 所在の場所

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
電話(024)547-1821

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に關し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有
内科と組み合わせた診療科名等	
<input type="radio"/> 1 呼吸器内科	<input type="radio"/> 2 消化器内科
<input type="radio"/> 5 神経内科	<input type="radio"/> 6 血液内科
<input type="radio"/> 9 感染症内科	<input type="radio"/> 10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科
診療実績	

5 神経内科→脳神経内科

9 感染症内科→内科

10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科→呼吸器内科、リウマチ科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
<input type="radio"/>	1呼吸器外科	<input type="radio"/>	2消化器外科	<input type="radio"/>	3乳腺外科	<input type="radio"/>	4心臓外科
	5血管外科	<input type="radio"/>	6心臓血管外科	<input type="radio"/>	7内分泌外科	<input type="radio"/>	8小児外科
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

<input type="radio"/>	1精神科	<input type="radio"/>	2小児科	<input type="radio"/>	3整形外科	<input type="radio"/>	4脳神経外科
<input type="radio"/>	5皮膚科	<input type="radio"/>	6泌尿器科	<input type="radio"/>	7産婦人科	<input type="radio"/>	8産科
<input type="radio"/>	9婦人科	<input type="radio"/>	10眼科	<input type="radio"/>	11耳鼻咽喉科	<input type="radio"/>	12放射線科
	13放射線診断科	<input type="radio"/>	14放射線治療科	<input type="radio"/>	15麻酔科	<input type="radio"/>	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4)歯科

歯科				有	
歯科と組み合わせた診療科名					
	1小児歯科		2矯正歯科	<input type="radio"/>	3歯科口腔外科
歯科の診療体制					

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	漢方内科	2	腫瘍内科	3	形成外科	4	小児腫瘍内科	5	病理診断科
6	リハビリテーション科	7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
49	2	14	-	713	778 (単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	391	250	517.31
歯科医師	4	9	10.007
薬剤師	49	1	49.774
保健師	0	0	0
助産師	41	3	43.6
看護師	805	22	818.7
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	3	3	3
管理栄養士	7	0	7

職種	員数
看護補助者	92
理学療法士	15
作業療法士	6
視能訓練士	11
義肢装具士	0
臨床工学士	20
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	51

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査技師	83	
臨床検査	衛生検査技師	0
その他	0	
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	6	
その他の技術員	16	
事務職員	172	
その他の職員	39	

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	61	眼科専門医	12
外科専門医	47	耳鼻咽喉科専門医	10
精神科専門医	5	放射線科専門医	7
小児科専門医	28	脳神経外科専門医	7
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	22
泌尿器科専門医	8	麻酔科専門医	17
産婦人科専門医	9	救急科専門医	11
合計			253

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (竹石 恭知) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

・平成26年4月～平成30年3月 医療事故防止対策委員会(R2.1医療安全管理委員会に名称変更) 委員
・平成26年4月～平成30年3月 医療クオリティ審議委員会 委員
・平成26年4月～平成30年3月 医事紛争対策専門委員会 委員
・令和4年4月～ 医療安全管理委員会委員
・令和4年4月～ 医療クオリティ審議委員会 委員
・令和4年4月～ 医事紛争対策専門委員会 委員
【学外】
・令和3年12月8日 令和3年度特定機能病院管理者研修 受講
・令和5年1月16日 令和4年度特定機能病院管理者研修 受講
・令和6年1月26日 令和5年度特定機能病院管理者研修 受講

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	569 人	7 人	577 人
1日当たり平均外来患者数	1498 人	40 人	1539 人
1日当たり平均調剤数	942.8	剤	
必要医師数	147	人	
必要歯科医師数	3	人	
必要薬剤師数	20	人	
必要(准)看護師数	341	人	

- (注)
- 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 - 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 - 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 - 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 - 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	心電計	有	有
集中治療室	282.9 m ²	鉄筋コンクリート	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	12 床 有 有	心細動除去装置 ペースメーカー	有 有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	271.2 m ²	病床数	24	床
	[移動式の場合]	台数	4 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	42.3 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	1386.8 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) トキシメーター・全自動蛍光免疫測定装置			
細菌検査室	86.2 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動血液培養・抗酸菌培養装置			
病理検査室	25.7 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) ウルトラミクロトーム			
病理解剖室	121.4 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 減菌機			
研究室	114.5 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 感染防止対策用凍結ミクロトーム			
講義室	522.7 m ²	鉄筋コンクリート	室数 2 室	収容定員 459 人		
図書室	1954 m ²	鉄筋コンクリート	室数 2 室	蔵書数 22万2000 冊程度		

- (注)
- 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

- 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	88.5 %	逆紹介率	77.6 %
A:紹介患者の数		11,064	人
B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		10,624	人
C:救急用自動車によって搬入された患者の数		1,053	人
D:初診の患者の数		13,689	人

- (注)
- 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

- 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

- A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
今野 修	福島県医師会	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
安倍 孝祐	弁護士		法律に関する識見を有する者	無	1
田中 明	国立大学法人福島大学		医療を受ける者、その他医療従事者以外の者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページにおいて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0件
取扱い患者数の合計(人)	0人

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	7	56	ペーチェット病	139
2	筋萎縮性側索硬化症	43	57	特発性拡張型心筋症	181
3	脊髄性筋萎縮症	12	58	肥大型心筋症	153
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	20	60	再生不良性貧血	101
6	パーキンソン病	313	61	自己免疫性溶血性貧血	70
7	大脳皮質基底核変性症	8	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	18
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	179
9	神經有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	7
10	シャルコー・マリー・トゥース病	11	65	原発性免疫不全症候群	14
11	重症筋無力症	164	66	IgA腎症	406
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性囊胞腎	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	122	68	黄色韌帯骨化症	118
14	慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	38	69	後縫韌帯骨化症	201
15	封入体筋炎	12	70	広範脊柱管狭窄症	6
16	クロウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	2
17	多系統萎縮症	22	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	78	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソーム病	0	74	下垂体PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	33
21	ミトコンドリア病	9	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	53	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1
23	ブリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	2
24	亜急性硬膜性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合)	63
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	2
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	19	83	アジソン病	23
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	303
30	遠位型ミオパチー	2	85	特発性間質性肺炎	57
31	ベスマミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	97
32	自己貪食空腹性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	4
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓栓性肺高血圧症	0
34	神経線維腫症	86	89	リンパ脈管筋腫症	6
35	天疱瘡	122	90	網膜色素変性症	5
36	表皮水疱症	6	91	バッド・キアリ症候群	5
37	膿疱性乾癥(汎発型)	20	92	特発性門脈圧亢進症	7
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	126
39	中毒性表皮壊死症	3	94	原発性硬化性胆管炎	22
40	高安動脈炎	40	95	自己免疫性肝炎	143
41	巨細胞動脈炎	0	96	クローン病	164
42	結節性多発動脈炎	50	97	潰瘍性大腸炎	350
43	顯微鏡的多発血管炎	101	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	80	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	38	100	巨大膀胱短小結腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	20	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	11	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	458	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	256	105	チャージ症候群	3
51	全身性強皮症	131	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	67	107	若年性特発性関節炎	17
53	シェーグレン症候群	595	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	53	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	12	110	プラウ症候群	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
先天性ミオパチー	3	166 弾性線維性仮性黄色腫	7
111 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	167 マルファン症候群	33
112 筋ジストロフィー	42	168 エーラス・ダンロス症候群	1
113 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	169 メンケス病	0
114 遺伝性周期性四肢麻痺	0	170 オクシピタル・ホーン症候群	0
115 アトピー性脊髄炎	0	171 ウィルソン病	2
116 脊髄空洞症	40	172 低ホスファターゼ症	0
117 脊髄膜瘤	28	173 VATER症候群	1
118 アイザックス症候群	0	174 那須・ハコラ病	0
119 遺伝性ジストニア	1	175 ウィーバー症候群	0
120 神経フェリチン症	0	176 コフィン・ローリー症候群	0
121 脳表ヘモジデリン沈着症	2	177 ジュペール症候群関連疾患	0
122 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	178 モワット・ウィルソン症候群	0
123 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	179 ウィリアムズ症候群	0
124 神經軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	180 ATR-X症候群	0
125 ペリー症候群	0	181 クルーゾン症候群	1
126 前頭側頭葉変性症	2	182 アペール症候群	1
127 ピッカースタッフ脳幹脳炎	2	183 ファイラー症候群	0
128 痙攣重積型(二相性)急性脳症	2	184 アントレー・ピクスラー症候群	0
129 先天性無痛無汗症	0	185 コフィン・シリス症候群	0
130 アレキサンダー病	1	186 ロスマンド・トムソン症候群	0
131 先天性核上性球麻痺	0	187 歌舞伎症候群	2
132 メビウス症候群	0	188 多脾症候群	8
133 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	3	189 無脾症候群	9
134 アイカルディ症候群	1	190 鰓耳腎症候群	0
135 片側巨脳症	0	191 ウェルナー症候群	1
136 限局性皮膚異形成	0	192 コケイン症候群	0
137 神經細胞移動異常症	0	193 ブラダー・ウィリ症候群	6
138 先天性大脳白質形成不全症	1	194 ソトス症候群	2
139 ドラベ症候群	1	195 スーナン症候群	6
140 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	2	196 ヤング・シンプソン症候群	1
141 ミオクロニーハーパー病	0	197 1p36欠失症候群	0
142 ミオクロニーハーパー病	0	198 4p欠失症候群	1
143 レノックス・ガストー症候群	6	199 5p欠失症候群	0
144 ウエスト症候群	22	200 第14番染色体父親性ダインミー症候群	0
145 大田原症候群	2	201 アンジェルマン症候群	0
146 早期ミオクロニーハーパー病	0	202 スミス・マギニス症候群	0
147 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	203 22q11.2欠失症候群	1
148 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	55	204 エマヌエル症候群	0
149 環状20番染色体症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
150 ラスマッセン病	2	206 脆弱X症候群	0
151 PCDH19関連症候群	0	207 総動脈幹遺残症	2
152 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	208 修正大血管転位症	2
153 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	209 完全大血管転位症	22
154 ランドウ・クレフナー・症候群	0	210 単心室症	31
155 レット症候群	7	211 左心低形成症候群	9
156 ステージ・ウェーバー症候群	0	212 三尖弁閉鎖症	13
157 結節性硬化症	30	213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
158 色素性乾皮症	1	214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1
159 先天性魚鱗癖	2	215 ファロー四徴症	108
160 家族性良性慢性天疱瘡	4	216 両大血管右室起始症	40
161 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	89	217 エプスタイン病	6
162 特発性後天性全身性無汗症	9	218 アルポート症候群	8
163 眼皮膚白皮症	3	219 ギャロウェイ・モワト症候群	0
164 肥厚性皮膚骨膜症	2	220 急速進行性糸球体腎炎	72

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数	疾 患 名	患者数
221	抗糸球体基底膜腎炎	6	276 軟骨無形成症	2
222	一次性ネフローゼ症候群	3	277 リンパ管腫症/ゴーハム病	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1
224	紫斑病性腎炎	8	279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
225	先天性腎性尿崩症	0	280 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	281 クリップル・トレノナー・ウェーバー症候群	0
227	オスラー病	11	282 先天性赤血球形成異常性貧血	0
228	閉塞性細気管支炎	13	283 後天性赤芽球病	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	24	284 ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
230	肺胞低換気症候群	6	285 ファンコニ貧血	0
231	α -アンチトリプシン欠乏症	0	286 遺伝性鉄芽球性貧血	0
232	カーニー複合	0	287 エブスタイン症候群	1
233	ウォルフラム症候群	0	288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	289 クロンカイト・カナダ症候群	4
235	副甲状腺機能低下症	307	290 非特異性多発性小腸潰瘍症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	291 ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	23
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	292 総排泄腔外反症	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	5	293 総排泄腔遺残	10
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	294 先天性横隔膜ヘルニア	9
240	フェニルケトン尿症	0	295 乳幼児肝巨大血管腫	0
241	高チロシン血症1型	0	296 胆道閉鎖症	33
242	高チロシン血症2型	0	297 アラジール症候群	6
243	高チロシン血症3型	0	298 遺伝性肺炎	0
244	メープルシロップ尿症	0	299 囊胞性線維症	0
245	プロピオン酸血症	0	300 IgG4関連疾患	112
246	メチルマロン酸血症	0	301 黄斑ジストロフィー	48
247	イソ吉草酸血症	0	302 レーベル遺伝性視神経症	3
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	303 アッシャー症候群	1
249	グルタル酸血症1型	0	304 若年発症型両側性感音難聴	0
250	グルタル酸血症2型	0	305 遅発性内リンパ水腫	1
251	尿素サイクル異常症	5	306 好酸球性副鼻腔炎	47
252	リジン尿性蛋白不耐症	1	307 カナバン病	0
253	先天性葉酸吸收不全	1	308 進行性白質脳症	0
254	ポルフィリン症	0	309 進行性ミオクロースてんかん	3
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	310 先天異常症候群	0
256	筋型糖原病	0	311 先天性三尖弁狭窄症	0
257	肝型糖原病	0	312 先天性僧帽弁狭窄症	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	313 先天性肺静脈狭窄症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	314 左肺動脈右肺動脈起始症	1
260	シトステロール血症	1	315 ネイルバテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B関連腎症	0
261	タンジール病	0	316 カルニチン回路異常症	0
262	原発性高カリオミクロン血症	1	317 三頭酵素欠損症	0
263	脳膜黄色腫症	0	318 シトリン欠損症	0
264	無 β リボタンパク血症	0	319 セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
265	脂肪萎縮症	1	320 先天性グリコシルホスファチジルイノシットール(GPI)欠損症	0
266	家族性地中海熱	42	321 非ケトーシス型高グリシン血症	0
267	高IgD症候群	0	322 β -ケトチオラーゼ欠損症	0
268	中條・西村症候群	0	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	43	324 メチルグルタコン酸尿症	0
270	慢性再発性多発性骨髓炎	0	325 遺伝性自己炎症疾患	4
271	強直性脊椎炎	41	326 大理石骨病	0
272	進行性骨化性線維異形成症	0	327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	328 前眼部形成異常	1
274	骨形成不全症	17	329 無虹彩症	1
275	タナトフォリック骨異形成症	1	330 先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	2

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	190件
合計患者数(人)	7,754人

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医療情報取得加算	・重症患者初期支援充実加算
・医療DX推進体制整備加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(7対1一般・結核・10対1・精神)	・呼吸ケアチーム加算
・臨床研修病院入院診療加算	・術後疼痛管理チーム加算
・救急医療管理加算1	・後発医薬品使用体制加算1
・超急性期脳卒中加算	・バイオ後続品使用体制加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・診療録管理体制加算1	・データ提出加算
・医師事務作業補助体制加算1 20対1	・入退院支援加算1
・急性期看護補助体制加算 25対1(5割以上)(注2 夜間100対1急性期看護補助体制加算、注3 夜間看護体制加算、注4 看護補助体制充実加算1)	・入院時支援加算及び注4に規定する地域連携診療計画加算
・看護職員夜間配置加算 12対1配置加算1	・認知症ケア加算2
・療養環境加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・重症者等療養環境特別加算	・精神疾患診療体制加算
・無菌治療室管理加算1、2	・精神科急性期医師配置加算2
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)(密封小線源による場合)	・地域医療体制確保加算
・緩和ケア診療加算及び注4に規定する個別栄養食事管理加算	・救命救急入院料3、4(注3救急体制充実加算1、注6小児加算、注9早期栄養介入管理加算)
・小児緩和ケア診療加算	・特定集中治療室管理料1(注1上限日数延長、注2小児加算、注4早期離床・リハビリテーション加算、注7早期栄養介入管理加算)
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料5(注2小児加算)
・精神科リエンジンチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料1、2
・摂食障害入院医療管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・がん診療連携拠点病院加算(基幹型)	・一類感染症患者入院医療管理料
・栄養サポートチーム加算	・小児入院医療管理料1(注2保育士2名以上の場合、注5無菌治療管理加算1・2)
・医療安全対策加算1	・入院時食事療養費(I)(食堂加算)
・感染対策向上加算1(注2指導強化加算、注5抗菌薬適正使用体制加算)	・
・患者サポート体制充実加算	・

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料の注2に規定する加算	・がん治療連携計画策定料
・心臓ペースメーカー指導管理料注2に規定する植込型除細動器移行期加算	・がん治療連携指導料
・心臓ペースメーカー指導管理料注5に規定する遠隔モニタリング加算	・肝炎インターフェロン治療計画料
・高度難聴指導管理料	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・慢性維持透析患者外来医学管理料の注3に掲げる腎代替療法実績加算	・薬剤管理指導料
・糖尿病合併症管理料	・医療機器安全管理料1、2
・がん性疼痛緩和指導管理料	・精神科退院時共同指導料1及び2
・がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	・総合医療管理加算(歯科疾患管理料)(旧:総合医療管理料Ⅰ)
・がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ	・歯科治療時医療管理料(旧:総合医療管理料Ⅱ)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・救急患者連携搬送料
・糖尿病透析予防指導管理料	・遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)
・小児運動器疾患指導管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・腎代替療法指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・一般不妊治療管理料	・持続血糖測定器加算
・生殖補助医療管理料1	・造血器腫瘍遺伝子検査
・下肢創傷処置管理料	・遺伝学的検査
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・院内トリアージ実施料	・BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞を検体とするもの)
・外来放射線照射診療料	・BRCA1/2遺伝子検査(血液を検体とするもの)
・外来腫瘍化学療法診療料1	・がんゲノムプロファイリング検査
・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料)	・先天性代謝異常症検査
・ニコチン依存症管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・ハイリスク妊娠婦連携指導料1	・検体検査管理加算(IV)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・国際標準検査管理加算	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)
・遺伝カウンセリング加算	・CT撮影及びMRI撮影
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・冠動脈CT撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・外傷全身CT加算
・植込型心電図検査	・大腸CT加算
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・心臓MRI撮影加算
・胎児心エコー法	・乳房MRI撮影加算
・ヘッドアップティルト試験	・小児鎮静下MRI撮影加算
・人工脾臓検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・皮下連続式グルコース測定	・外来化学療法加算1
・長期継続頭蓋内脳波検査	・連携充実加算
・神経学的検査	・無菌製剤処理料
・補聴器適合検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(I) 初期加算含む
・黄斑局所網膜電図及び全視野精密網膜電図	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I) 初期加算含む
・ロービジョン検査判断料	・廃用症候群リハビリテーション料(I) 初期加算含む
・コンタクトレンズ検査料1	・運動器リハビリテーション料(I) 初期加算含む
・小児食物アレルギー負荷検査	・呼吸器リハビリテーション料(I) 初期加算含む
・内服・点滴誘発試験	・がん患者リハビリテーション料
・口腔細菌定量検査	・歯科口腔リハビリテーション料2
・咀嚼能力検査	・療養生活継続支援加算
・精密触覚機能検査	・精神科作業療法
・センチネルリンパ節生検(片側)	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・画像診断管理加算2	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・遠隔画像診断	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失调症治療指導管理料に限る。)
・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・医療保護入院等診療料
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・硬膜外自家血注入	・羊膜移植術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・縁内障手術(縁内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・縁内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・人工腎臓	・縁内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・人工胰臓療法	・網膜再建術
・一酸化窒素吸入療法(新生児の低酸素呼吸不全に対して実施するものに限る。)	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・ストーマ合併症加算	・人工中耳植込術
・手術用顕微鏡加算	・人工内耳植込術
・口腔粘膜処置	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・植込型骨導補聴器移植術
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・植込型骨導補聴器交換術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍を含む。)
・椎間板内酵素注入療法	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・緊急穿頭血腫除去術	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・脳血栓回収療法連携加算	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(垂全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・補助人工心臓
・気管支バルブ留置術	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・経皮的大動脈遮断術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・ダメージコントロール手術
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・内視鏡下筋層切開術	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎孟)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・経皮的冠動脈形成術	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・経皮的冠動脈ステント留置術	・胆管悪性腫瘍手術(脾頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下肝切除術
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経カテーテル大動脈弁置換術	・生体部分肝移植術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・同種死体肝移植術
・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下脾中央切除術
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・同種死体脾移植術、同種死体脾腎移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・内視鏡的小腸ポリープ切除術

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・自己生体組織接着剤作成術
・同種死体腎移植術	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・生体腎移植術	・同種クリオプレシピテート作製術
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下膀胱尿管逆流手術(膀胱外アプローチ)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・尿道狭窄グラフト再建術	・歯根端切除手術の注3
・精巣温存手術	・口腔粘膜血管腫凝固術
・精巣内精子採取術	・レーザー機器加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術	・1回線量増加加算(高エネルギー放射線治療)
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・1回線量増加加算(強度変調放射線治療(IMRT)前立腺照射)
・胎児輸血術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・体外式膜型人工肺管理料	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6(歯科点数表第2章第9部手術の通則4を含む。)に掲げる手術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・定位放射線治療
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の20に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・画像誘導密封小線源治療加算
・輸血管理料Ⅰ	・保険医療機関間の連携による病理診断
・輸血適正使用加算	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<p>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。</p> <p>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</p>	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	167	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数(例)	21
	剖検率(%)	6.27

1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)。

(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自己炎症性疾患とその類縁疾患における、移行期医療を含めた診療体制整備、患者登録推進、全国疫学調査に基づく診療ガイドライン構築に関する研究	右田 清志	リウマチ膠原病内科学講座	600,000	(補) 厚生労働省 委
バイリンインフラマゾーム活性化メカニズムの解明とその制御法の開発				(補) 文部科学省 委
Fli-1によるCCL20-CCR6 axisを介したSLEの病態解明	松岡 直紀	リウマチ膠原病内科学講座	1,000,000	(補) 文部科学省 委
自己炎症のメカニズムに立脚した成人スチル病の分子病態の解明				(補) 文部科学省科学研究費基盤研究◎ 委
成人発症スチル病(AOSD)に対する5-アミノレブリン酸塩酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム(5-ALA HCL/SFC)投与の医師主導治験	研究代表者:川上純 研究分担者:右田清志	リウマチ膠原病内科学講座 (国立大学法人長崎大学)	1,500,000	(補) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 委
バイリン機能異常に裏付けられたMEFV遺伝子型-表現型相関の解析・MEFV遺伝子変異の同定されない家族性地中海熱の病態生理解明	右田 清志	リウマチ膠原病内科学講座	500,000	(補) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 委
211At-PSMAリガンドの唾液腺集積機序の解明と治療応用に関する研究	織内 昇	核医学科	6,760,000	(補) 日本学術振興会 委

RIによるがん治療の効果と安全性に関する研究	織内 昇	核医学科	1,000,000	補委	公益財団法人ひと・健康・未来研究財団
線量評価による内分泌腫瘍に対する核医学治療の高度化	織内 昇	核医学科	300,000	補委	公益財団法人山口内分泌疾患研究振興財団
固相法によるアスタチン標識化合物自動合成装置の開発	志賀哲(分担)	核医学科	26,156,000	補委	AMED
At-211 MABGの褐色細胞腫/パラガンギリオーマ患者における薬物動態、安全性および有効性に関する第I相試験	志賀哲(分担)	核医学科	65,000,000	補委	AMED
肝組織由来スフェロイドを用いた肝オルガノイドの開発とその微小環境分子機構の解明	丸橋 繁	肝胆膵・移植外科学 講座	1,200,000	補委	日本学術振興会
組織工学技術を応用した間葉系幹細胞-肝細胞の複合再生肝組織の開発	佐藤直哉	肝胆膵・移植外科学 講座	980,000	補委	アカデミア・コンソーシアムふくしま
肝癌と肺癌における核内受容体LRH1異常リン酸化の解明	西間木淳	肝胆膵・移植外科学 講座	1,000,000	補委	日本学術振興会
脈絡膜血管3次元構造解析によるパキコロイド疾患の脈絡膜新生血管発生機序の解明	石龍鉄樹	眼科	1,430,000	補委	日本学術振興会
視神経炎における新規治療の探索	向井亮	眼科	1,040,000	補委	日本学術振興会

ARMS2遺伝子変異による眼内補体活性化の機構解明	加藤寛	眼科	2,600,000	補 委	日本学術振興会
白血病における細胞内代謝制御機構の構造的基盤	小山大輔	血液内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
造血細胞移植後VOD/SOSに対する新たな治療戦略研究課題	大河原浩	血液内科	910,000	補 委	日本学術振興会
Gas6/Merシグナルを標的とした新型コロナウイルスによる血栓症対策	古川未希	血液内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
患者由来腫瘍組織移植モデルと腫瘍浸潤リンパ球を用いたテラーメイドがん免疫療法	松村勇輝	呼吸器外科	910,000	補 委	日本学術振興会
肺癌治療におけるferroptosisの意義	尾崎有紀	呼吸器外科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
MTAP遺伝子欠失をもつ大腸癌の癌微小環境における免疫細胞の活性化機序の解明	濱田和幸	呼吸器外科	1,820,000	補 委	日本学術振興会
がん免疫療法の効果を高める老化細胞除去療法の開発	武藤哲史	呼吸器外科	1,820,000	補 委	日本学術振興会
三次リンパ様構造を治療標的とした新規がん免疫療法の開発	福原光朗	呼吸器外科	2,340,000	補 委	日本学術振興会

非小細胞肺癌のHER3を標的とした211Atによる免疫放射線療法の開発	高木玄教	呼吸器外科	780,000	補 委	日本学術振興会
肺癌における免疫モニタリング法の確立と3次リンパ様構造を標的とした免疫療法の開発	鈴木弘行	呼吸器外科	380,000	補 委	福島県立医科大学
肺癌における核内受容体LRH1異常リン酸化の解明	峯勇人	呼吸器外科	380,000	補 委	福島県立医科大学
未治療進行非扁平上皮非小細胞肺がんに対するABC-P(Atezolizumab+Bevacizumab+Carboplatin+Paclitaxel)療法の日本人における有効性、忍容性の検討及びMicrobiotaによるバイオマーカーの探索	鈴木弘行	呼吸器外科	0	補 委	昭和大学
完全切除された非小細胞肺がんに対する術後化学療法後のS-588410によるペプチドワクチン維持療法の第Ⅱ相試験	岡部直行	呼吸器外科	134,904	補 委	東京大学
高齢者完全切除Ⅱ/Ⅲ期非小細胞肺癌に対するAtezolizumab術後補助療法の臨床第Ⅱ相試験(LOGIC2301)	武藤哲史	呼吸器外科	0	補 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
Type2/Non-type2の両指標による喘息、COPD、ACOの増悪予測検討	鈴木康仁	呼吸器内科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
呼気硫化水素を用いた気管支喘息の難治化および増悪予測の検討	斎藤純平	呼吸器内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
東日本大震災の慢性期における高齢者の潜在的嚥下障害に対する実践的介入モデルの開発	今泉光雅 (代表)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	400,000	補 委	日本学術振興会

頭頸部癌の上皮間葉移行におけるのイオン輸送・水輸送の役割の解明	垣野内 景 (代表)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
神経皮膚症候群および色素性乾皮症・ポルフィリン症の学際的診療体制に基づく医療最適化と患者QOL向上のための研究	今泉光雅 (分担)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,000,000	補 委	厚生労働省
高度肥満患者および若い瘦患者におけるフェンタニルの血中・効果部位濃度予測	小原伸樹	手術部	900,000	補 委	日本学術振興会
乳癌におけるER分解制御因子NEDD4-1の生物学的機能と治療効果との相関性	佐治重衡	腫瘍内科学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会
細胞内シグナル伝達阻害薬が内分泌療法耐性乳癌の治療感受性を回復させる機序の解明	徳田恵美	腫瘍内科学講座	520,000	補 委	日本学術振興会
癌免疫療法により生じる免疫関連有害事象の発症予測マーカーの確立	名取 穂	腫瘍内科学講座	780,000	補 委	日本学術振興会
吸入麻酔薬投与デバイスを用いた重症呼吸不全患者の換気量制御	箱崎 貴大	集中治療部	300,000	補 委	日本学術振興会
重症呼吸器疾患の評価における間接熱量計から求めた肺の酸素消費量の有用性の検討	吉田 圭佑	集中治療部	3,200,000	補 委	日本学術振興会
心不全におけるクローン性造血の包括的理理解とエクソソームを介した治療応用	竹石恭知	循環器内科	4,600,000	補 委	日本学術振興会

N-ミリストイル化を介したオートファジー制御機構の解明と新しい心不全治療法の開発	富田湧介	循環器内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
がん-心不全増悪連関をもたらす液性因子の解明	及川雅啓	循環器内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
ヒストンセロトニン化による新規エピジェネティック制御を介した心不全の分子機構	三阪智史	循環器内科	1,400,000	補 委	日本学術振興会
リンパ系に着目した肺高血圧症の新たな分子機構の解明と治療法の開発	横川哲朗	循環器内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
好中球細胞外トラップを介した心臓ロバストネス制御と心不全の新規治療法の開発	市村祥平	循環器内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
心血管疾患におけるクローネ性造血加速因子としてのDNA損傷の役割の解明	石田隆史	循環器内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
心不全と多臓器連関(心-腎-肝-腸-脳-骨格筋連関)における腸内細菌叢の関与	義久精臣	循環器内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
心不全におけるFKBP5のエピジェネティクスを基軸とした炎症制御機構の解明	和田健斗	循環器内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
心不全によるがん進行・転移促進の機序の解明:交感神経による免疫寛容制御の視点から	谷哲矢	循環器内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会

心房細動における "epicardial connection"の 病態的意義の検討	金城貴士	循環器内科	400,000	補 委	日本学術 振興会
肺好中球分化へのダイナ ミズムと炎症を基軸とした 肺高血圧症の病態解明	君島勇輔	循環器内科	1,000,000	補 委	日本学術 振興会
肺高血圧の進展メカニズ ムの多様性に関する検討 —クローン性造血(CHIP) の関与—	中里和彦	循環器内科	1,400,000	補 委	日本学術 振興会
肺動脈性肺高血圧症の内 皮間葉分化転換における DNA損傷応答とTGF- β の役割	杉本浩一	循環器内科	600,000	補 委	日本学術 振興会
DNA損傷からみた小児が ん治療関連心機能障害発 症のメカニズム探索と予知 の試み	八重樫大輝	循環器内科	1,200,000	補 委	日本学術 振興会
Pentraxin 3を介した大動 脈瘤形成メカニズムの解 明	清水竹史	循環器内科	1,800,000	補 委	日本学術 振興会
Shear StressとEFNA1に着 目した動脈硬化進展にお ける新たなメカニズムの解 明	赤間淨	循環器内科	2,700,000	補 委	日本学術 振興会
T細胞Hexokinaseのミトコ ンドリアからの脱結合は圧 負荷心不全を抑制するか	三浦俊輔	循環器内科	800,000	補 委	日本学術 振興会
マクロファージの分化増殖 機構に着目した肺高血圧 症治療法の開発	佐藤彰彦	循環器内科	1,600,000	補 委	日本学術 振興会

骨代謝による心制御システムの可能性 低カルボキシル化オステオカルシンと心不全予後	阿部諭史	循環器内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
心不全血行動態における腹部エコーと動脈硬化指標の重要性の検討	佐藤悠	循環器内科	800,000	補 委	日本学術振興会
大動脈弁狭窄症とclonal hematopoiesis of indeterminate potentialの関連性の解明	武藤雄紀	循環器内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
大動脈弁狭窄症の進行におけるCalciprotein particleの役割	安齋文弥	循環器内科	700,000	補 委	日本学術振興会
特発性心筋症の診断・ゲノム情報利活用に関する調査研究	竹石恭知	循環器内科	300,000	補 委	厚生労働省
心臓と臓器連関をつなぐ細胞外小胞の分子基盤と治療応用	三阪智史	循環器内科	1,818,182	補 委	公益財団法人武田科学振興財団
肺動脈周囲マクロファージの集積機構に着目した肺高血圧症の新規治療薬の開発	横川哲朗	循環器内科	3,000,000	補 委	公益財団法人持田記念医学薬学振興財団
肺動脈周囲マクロファージの集積機構に着目した肺高血圧症の新規治療薬の開発	横川哲朗	循環器内科	2,000,000	補 委	一般社団法人日本循環器学会
細胞外マトリックス蛋白による肺高血圧症発症メカニズムの解明	横川哲朗	循環器内科	2,000,000	補 委	日本心臓財団

CKDを有するHFrEF患者におけるカロリー制限による抗加齢効果	大原妃美佳	循環器内科	380,000	補 委	福島県立医科大学
PET/MRIを用いた心筋血流予備能と左室内血流解析による新規予後予測要因の開発	遠藤圭一郎	循環器内科	380,000	補 委	福島県立医科大学
クローン性造血から着想する心臓骨髓連関を介したHFpEFの分子病態機構	小河原峻	循環器内科	380,000	補 委	福島県立医科大学
クローン性造血における静脈血栓症形成の分子基盤と治療応用	三阪智史	循環器内科	333,334	補 委	福島県立医科大学
心房細動アブレーション術後における左房硬化症候群の機序解明とその予防法の創出	野寺穰	循環器内科	380,000	補 委	福島県立医科大学
肺動脈性肺高血圧症に対するアンチセンス核酸医薬の開発	西浦司人	循環器内科	380,000	補 委	福島県立医科大学
同種免疫反応を起点とした抑制性がん微小環境の克服および抗腫瘍免疫誘導機序の解明	望月一弘	小児腫瘍内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
進行・再発胃癌における放射線治療と抗PD-1療法を用いた複合がん免疫療法の開発	三村耕作	消化管外科学講座	1,000,000	補 委	日本学術振興会
シングルセル解析を応用した大腸癌の糖鎖研究	山田玲央	消化管外科学講座	400,000	補 委	日本学術振興会

STING経路を標的としたHER2陽性胃癌の新規治療戦略	金田晃尚	消化管外科学講座	1,400,000	補 委	日本学術振興会
消化管癌におけるNrt2に伴うM2腫瘍関連マクロファージの侵重潤頻度増加機序の解明	松本拓朗	消化管外科学講座	1,200,000	補 委	日本学術振興会
放射線とNivo併用におけるImmunogenic cell deathの検証	河野浩二	消化管外科学講座	3,500,000	補 委	日本学術振興会
TGF β が誘導する大腸癌微小環境を標的とした併用療法	岡山洋和	消化管外科学講座	1,200,000	補 委	日本学術振興会
大腸癌におけるVEGF receptor 2を標的とした制御性T細胞の制御	花山寛之	消化管外科学講座	1,200,000	補 委	日本学術振興会
食道癌の免疫放射線療法におけるcGAS-STING経路を介した腫瘍微小環境の制御	中嶋正太郎	消化管外科学講座	1,100,000	補 委	日本学術振興会
T-DXdがHER2陽性胃癌における抗腫瘍免疫応答に及ぼす影響	芦澤舞	消化管外科学講座	1,400,000	補 委	日本学術振興会
バイオマーカーによるStage II大腸癌診療の個別化	氏家大輔	消化管外科学講座	1,500,000	補 委	日本学術振興会
抗癌剤による食道扁平上皮癌微小環境におけるIL-34調節機構とTAMとの関連	門馬智之	消化管外科学講座	800,000	補 委	日本学術振興会

EBV関連胃癌におけるエピゲノム異常によるARID1A遺伝子の発現制御機序の解明	齋藤元伸	消化管外科学講座	800,000	補委	日本学術振興会
dMMR/MSI-H大腸癌における希少サブフラクションの同定と個別的免疫療法	坂本涉	消化管外科学講座	600,000	補委	日本学術振興会
大腸癌の腫瘍免疫抑制細胞群プロファイルによる免疫療法の応用	遠藤英成	消化管外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
結腸・直腸癌腫瘍微小環境における腫瘍関連マクロファージの制御方法の開発	菊池智宏	消化管外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会
胃癌腫瘍微小環境における免疫抑制機構の解明とその臨床応用について	三村 耕作	消化管外科学講座	800,000	補委	日本学術振興会
ARID1A変異胃癌に対する標的治療の開発	佐瀬 善一郎	消化管外科学講座	1,100,000	補委	日本学術振興会
染色体不安定性により生じる免疫制御遺伝子の不活化と免疫逃避機構	藤田 正太郎	消化管外科学講座	1,100,000	補委	日本学術振興会
MSS/CIN大腸癌における染色体不安定性(CIN)制御機構の解明	早瀬 傑	消化管外科学講座	1,400,000	補委	日本学術振興会
食道癌間質における癌関連線維芽細胞由来分子による転移・浸潤促進機構の解明	菅家 康之	消化管外科学講座	1,200,000	補委	日本学術振興会

アザチオプリンの副作用 発現頻度に係る調査研究	大平弘正	消化器内科	1,820,000	補 委	日本学術 振興会
難治性の肝・胆道疾患に 関する調査研究	大平弘正	消化器内科	280,000	補 委	日本学術 振興会
自己免疫性肝炎における 新規自己抗体の網羅的解 析	大平弘正	消化器内科	1,300,000	補 委	日本学術 振興会
非アルコール性脂肪性肝 疾患における「うつ」と運動 療法の新展開	高橋敦史	消化器内科	2,554,612	補 委	日本学術 振興会
口腔・腸内細菌と濾胞性 ヘルパーT細胞を標的とした 自己免疫性肝炎の病態 解明	阿部和道	消化器内科	1,645,518	補 委	日本学術 振興会
間葉系幹細胞由来エクソ ソームとシングルセル解析 による自己免疫性肝炎の 新規治療開発	阿部和道	消化器内科	700,000	補 委	日本学術 振興会
補体受容体C3ARが膀胱 の腫瘍免疫に及ぼす影響 の検証と治療応用	鈴木 玲	消化器内科	2,000,000	補 委	日本学術 振興会
Macrophage inhibitory cytokine-1から展開する胆 道癌診療のブレークス ルー	杉本 充	消化器内科	800,000	補 委	日本学術 振興会
非アルコール性脂肪肝疾 患の病態におけるレクチン 経路、第二経路の影響の 解明	林 学	消化器内科	1,607,220	補 委	日本学術 振興会

腸管と脾臓のクロストーク ～全身性疾患としての炎症性腸疾患～	川島一公	消化器内科	1,976,665	補委	日本学術振興会
炎症性腸疾患における補体の影響の解明と新規抗体薬の有効性	高住美香	消化器内科	874,735	補委	日本学術振興会
様々な大規模データを用いた高齢者心臓手術の現状とリスクの可視化	横山 齊	心臓血管外科学講座	2,000,000	補委	日本学術振興会
地域医療構想の実現のためのNCDの利活用についての政策研究	横山 齊	心臓血管外科学講座	100,000	補委	厚生労働省
ポドサイト障害におけるアンギュリンの役割の解明	東 淳子	腎臓高血圧内科学講座	700,000	補委	日本学術振興会
CKD患者のサルコペニアの病態機序解明及びHIF-PH阻害薬の効果に関する検討	渡邊 公雄	腎臓高血圧内科学講座	1,307,895	補委	日本学術振興会
コラーゲン代謝障害による骨・関節破壊の分子機序の解明	松本 嘉寛	整形外科学講座	100,000	補委	日本学術振興会
膝関節音・バランス能力から運動器症候群を予知/予防するAI診療システムの開発	紺野 慎一	整形外科学講座	300,000	補委	日本学術振興会
中脳辺縁ドパミン神経系の鎮痛機序とその可塑性に関する研究	紺野 慎一	整形外科学講座	100,000	補委	日本学術振興会

「冷え」改善に向けた「こころ」と「からだ」の繋がりの探索	二階堂 琢也	整形外科学講座	150,000	補 委	日本学術振興会
認知機能低下や自己効力と運動器の疼痛や機能障害との関係を明らかにする探索的研究	大谷 晃司	整形外科学講座	44,054	補 委	日本学術振興会
ラット腰椎椎間板ヘルニアモデルへの社会的敗北ストレス負荷が及ぼす影響	紺野 慎一	整形外科学講座	300,000	補 委	日本学術振興会
腱細胞・腱組織におけるTRPチャネルを介した慢性炎症の機序	亀田 拓哉	整形外科学講座	400,000	補 委	日本学術振興会
免疫回避の阻害と自然免疫活性化を併用した、新しい骨肉腫肺転移治療法の開発	松本 嘉寛	整形外科学講座	330,300	補 委	日本学術振興会
DEXA法による筋量検査を用いた、腰部脊柱管狭窄における術前評価の確立	小林 洋	整形外科学講座	600,000	補 委	日本学術振興会
高齢運動器疾患者における身体活動量とPGC1- α の関連	加藤 鈴志	整形外科学講座	400,000	補 委	日本学術振興会
軽度認知機能障害は腰椎手術の成績不良因子となるか—探索的研究	渡邊 和之	整形外科学講座	400,000	補 委	日本学術振興会
肉腫PDXモデルとPETによるがん個別化医療に向けた治療効果予測システムの開発	箱崎 道之	整形外科学講座	1,000,000	補 委	日本学術振興会

ロコモティブシンドロームにおける要介護の予測因子の解明(LOHAS研究)	関口 美穂	整形外科学講座	500,000	(補) 委	日本学術振興会
ビッグデータとデジタル療法を用いた、運動器疾患の治療アドヒアランス向上を目指した研究:骨粗鬆症から希少がんまで	松本 嘉寛	整形外科学講座	1,866,792	(補) 委	日本整形外科学会
新規糖尿病サブクラスの病態解明:遺伝基盤を背景にした食行動・身体活動性変容の機序	島袋充生	糖尿病内分泌代謝内科学講座	1,300,000	(補) 委	日本学術振興会
若手研究 糖尿病クラスター分類における腎周囲脂肪の意義:糖尿病性腎臓病の新たなリスク要因	田辺隼人	糖尿病内分泌代謝内科学講座	600,000	(補) 委	日本学術振興会
神経皮膚症候群および色素性乾皮症・ポルフィリン症の学際的診療体制に基づく医療最適化と患者QOL向上のための研究	藤井 正純	脳神経外科	1,000,000	(補) 委	厚生労働省
眼球・視線情報による次世代覚醒下手術モニタリング法の開発	蛭田 亮	脳神経外科	3,770,000	(補) 委	厚生労働科学研究費補助金
糖蛋白を標的とした神経線維腫症2型に対する新規治療開発	藤井 正純	脳神経外科	4,680,000	(補) 委	文部科学省科学研究費助成事業
グリオーマの診断マーク実用化に向けた研究開発	藤井 正純	脳神経外科	13,000,000	(補) 委	次世代がん医療加速化研究事業
ストレス制御シグナルに着目した精索静脈瘤患者の精子形成障害の機序の解明	小川総一郎	泌尿器科学講座	1,600,000	(補) 委	日本学術振興会

IL-4産生を介したM2マクロファージによる前立腺肥大症線維化機序の解明	丹治亮	泌尿器科学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会
前立腺癌に対する新規Neopentyl-glycol(NpG)-PSMAリガンドによるAstatine-211(211At) α線内用療法の開発	星誠二	泌尿器科学講座	500,000	補 委	日本泌尿器科学会
新規バイオバンク構築とゲノムワイド関連解析による膀胱尿管逆流発症関連遺伝子の探索	秦淳也	泌尿器科学講座	800,000	補 委	公益財団法人 川野小児医学奨学財団
R5放射性健康管理・健康不安対策事業(放射線の健康影響に係る研究調査事業)福島県内における東日本大震災前後の停留精巣患者数の実態調査	小島祥敬	泌尿器科学講座	1,586,166	補 委	環境省
未治療日本人転移性腎細胞癌患者を対象としたカボザンチニブ・ニボルマブ併用療法の有効性と安全性に関する前向き観察研究(JACUMET試験)	小島祥敬	泌尿器科学講座	420,000	補 委	一般社団法人 九州臨床研究支援センター
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・疾患レジストリに関する研究	山本 俊幸	皮膚科学講座	180,000	補 委	厚生労働省
全身性肥満細胞症の診療ガイドライン作成に向けた疫学研究	山本 俊幸	皮膚科学講座	400,000	補 委	厚生労働省
好中球性皮膚症の分子生物学的病態解析と臨床症状との関連性に関する包括的研究	山本 俊幸	皮膚科学講座	800,000	補 委	文部科学省
全身性強皮症の血管障害への新治療薬による医師主導治験研究	山本 俊幸	皮膚科学講座	5,000,000	補 委	AMED

PETMRIを用いた心筋炎の活動性と心機能低下の予測に関する新規診断法の開発	福島 賢慈	放射線科	3,380,000	補 委	日本学術振興会
single-energy CTを用いた遅延造影定量による心アミロイドーシスの新規診断法の開発	関野 啓史	放射線科	3,600,000	補 委	日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄で認める腹圧負荷時馬尾運動の病態生理についての画像医学的研究	山國 遼	放射線科	3,380,000	補 委	日本学術振興会
子宮頸癌におけるドライバー変異の同定と、管便なりキッドバイオプシー開発のための基礎的検討	吉本 由哉	放射線治療科	380,000	補 委	日本学術振興会
うつが局所脳虚血後脳障害に与える影響	井上 聰己	麻酔・疼痛緩和科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
血糖値が免疫細胞アポトーシス及びミトコンドリア膜電位に与える影響との機序の解析	黒澤 伸	麻酔・疼痛緩和科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
遷延性術後痛の発症リスクを術前に予測する	中野 裕子	麻酔・疼痛緩和科	800,000	補 委	日本学術振興会
免疫細胞機能への作用の解析に基づく癌免疫能の観点からみた制吐薬の比較研究	田中詩織	麻酔・疼痛緩和科	380,000	補 委	公立大学法人福島県立医科大学
骨髄増殖性腫瘍が急性白血病に転化する機序と予防的治療法の解明	植田航希	輸血・移植免疫部	1,127,840	補 委	武田化学振興財団

進行・再発胃癌における放射線治療と抗PD-1療法を用いた複合がん免疫療法の開発	三村耕作	輸血・移植免疫部	1,000,000	補 委	武田化学振興財団
前白血病病変から急性白血病への進展機序の解明と進展を予防する治療の開発(令和3年度の受賞)	植田航希	輸血・移植免疫部	2,000,000	補 委	武田化学振興財団
細胞間相互作用に着目した前白血病から急性白血病への進展予防法の開発	植田航希	輸血・移植免疫部	1,500,000	補 委	公益財団法人MSD生命化学財団
単細胞転写プロファイル解析による、前白血病から急性骨髓性白血病への進行機序の解明	植田航希	輸血・移植免疫部	3,000,000	補 委	持田記念医学薬学振興財団
前白血病病変から急性白血病への進行に関わるnon-geneticな因子の検索	植田航希	輸血・移植免疫部	500,000	補 委	日本白血病研究基金
クローン性造血を持つ高齢者が、動脈硬化との相加相乗的作用にて血栓症を発症する分子生物学的機序の解明と、血栓リスクを予測するバイオマーカ	植田航希	輸血・移植免疫部	2,000,000	補 委	公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団
前白血病クローンの経時的追跡による白血病の病態解明	植田航希	輸血・移植免疫部	2,000,000	補 委	公益財団法人アステラス病態代謝研究会
前白血病から急性骨髓性白血病への進行をきたす分子機構の解明と先制治療法の開発	植田航希	輸血・移植免疫部	3,000,000	補 委	内藤記念科学振興財団
細胞バーコードと単細胞RNAシークエンスの併用による白血病クローンの経時的追跡	植田航希	輸血・移植免疫部	2,000,000	補 委	安田記念医学財団

前白血病から急性白血病への進行に寄与するnon-genetic因子の解明	植田航希	輸血・移植免疫部	5,000,000	補 委	上原記念 生命科学 財団	計161件
--------------------------------------	------	----------	-----------	--------	--------------------	-------

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Sato S, Zhang XK, Matsuoka N, Sumichika Y, Saito K, Yoshida S, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Asano T, Migita K.	リウマチ膠原病内科学講座	Transcription factor Fli-1 impacts the expression of CXCL13 and regulates immune cell infiltration into the kidney in MRL/lpr mouse.	Lupus Sci Med. 2023 Apr;10(1):e000870.	Original Article
2	Takimoto-Ito R, Kambe N, Kogame T, Nomura T, Izawa K, Jo T, Kazuma Y, Yoshifumi H, Tabuchi Y, Abe H, Yamamoto M, Nakajima K, Tomita O, Yagi Y, Katagiri K, Matsuzaka Y, Takeuchi Y, Hatanaka M, Kanekura T, Takeuchi S, Kadono T, Fujita Y, Migita K, Fujino T, Akagi T, Mukai T, Nagano T, Kawano M, Kimura H, Okubo Y, Morita A, Hide M, Satoh T, Asahina A, Kanazawa N, Kabashima K.	リウマチ膠原病内科学講座	Summary of the current status of clinically diagnosed cases of Schnitzler syndrome in Japan.	Allergol Int. 2023 Apr;72(2):297–305.	Original Article
3	Temmoku J, Miyata M, Suzuki E, Sumichika Y, Saito K, Yoshida S, Matsumoto H, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Watanabe H, Migita K.	リウマチ膠原病内科学講座	Drug Retention Rates of Janus Kinase Inhibitors in Rheumatoid Arthritis Patients with Therapy-Induced Lymphopenia	J Clin Med. 2023 Jul 21;12(14):4827.	Original Article
4	Temmoku J, Miyata M, Suzuki E, Sumichika Y, Saito K, Yoshida S, Matsumoto H, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita K.	リウマチ膠原病内科学講座	Drug Retention Rates and the Safety of Janus Kinase Inhibitors in Elderly Patients with Rheumatoid Arthritis	J Clin Med. 2023 Jul 10;12(14):4585.	Original Article

5	Maeda A, Tsuchida N, Uchiyama Y, Horita N, Kobayashi S, Kishimoto M, Kobayashi D, Matsumoto H, Asano T, Migita K, Kato A, Mori I, Morita H, Matsuhara A	リウマチ膠原病内科学講座	Efficient detection of somatic UBA1 variants and clinical scoring system predicting patients with variants in VEXAS syndrome.	Rheumatology (Oxford). 2023 Aug 22:kead425.	Original Article
6	Yoshida S, Sumichika Y, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita K.	リウマチ膠原病内科学講座	Effectiveness of Colchicine or Canakinumab in Japanese Patients with Familial Mediterranean Fever: A Single-Center Study	J Clin Med. 2023 Sep 28;12(19):6272.	Original Article
7	Yoshida S, Miyata M, Suzuki E, Kanno T, Sumichika Y, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita K.	リウマチ膠原病内科学講座	Safety of JAK and IL-6 inhibitors in patients with rheumatoid arthritis: a multicenter cohort study	Front Immunol. 2023 Oct 2:14:1267749.	Original Article
8	Sato Y, Fukatsu M, Suzuki T, Sasajima T, Gunji N, Yoshida S, Asano N, Fukuchi K, Mori H, Takano M, Hayashi K, Takahashi H, Shirado-	リウマチ膠原病内科学講座	Successful allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for myelodysplastic neoplasms complicated with secondary pulmonary alveolar proteinosis and Behcet's disease harboring GATA2 mutation.	Int J Hematol. 2023 Nov;118(5):642-646.	Original Article
9	Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Shimada K, Tsunoda S, Ito S, Okamoto A, Fujimori M, Nakamura T, Katayama M, Saisho K, Shinohara S, Matsui T, Migita K, Nagaoka S, Tohma S.	リウマチ膠原病内科学講座	Association of a Single Nucleotide Variant in TERT with Airway Disease in Japanese Rheumatoid Arthritis Patients	Genes (Basel). 2023 Nov 16;14(11):2084.	Original Article

10	Sumichika Y, Yoshida S, Suzuki E, Saito K, Matsumoto H, Temmoku J, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita K.	リウマチ膠原病内科学講座	Real-World Effectiveness of Belimumab in Patients with Active Lupus.	J Clin Med. 2023 Dec 11;12(24):7627.	Original Article
11	Nogi S, Oka S, Higuchi T, Furukawa H, Shimada K, Azuma T, Sugiyama T, Hirano F, Okamoto A, Fujimori A, Horai Y, Ihata A, Hashimoto A, Komiya A, Matsui T	リウマチ膠原病内科学講座	Human leucocyte antigens and Japanese patients with polymyalgia rheumatica: the protective effect of DRB1*09:01.	RMD Open. 2024 Jan 22;10(1):e003897.	Original Article
12	Sumichika Y, Temmoku J, Saito K, Yoshida S, Matsumoto H, Watanabe G, Utsumi A, Fujita Y, Matsuoka N, Asano T, Sato S, Migita K.	リウマチ膠原病内科学講座	New-onset Systemic Lupus Erythematosus Manifestation Following COVID- 19: A Case Report and Literature Review.	Intern Med. 2024 May 15;63(10):1491-1498.	Original Article
13	Tonda K, Iwabuchi Y, Shiga T, Owaki Y, Fujita A, Nakahara T, Sakurai R, Shimizu A, Yamada Y, Okada M, Jinzaki M.	核医学	Impact of patient characteristic factors on the dynamics of liver glucose metabolism: Evaluation of multiparametric imaging with dynamic whole- body 18 F- fluorodeoxyglucose- positron emission tomography.	Diabetes Obes Metab 2023 Dec;25(12):3521- 3528.	Original Article
14	Nakahara T, Iwabuchi Y, Miyazawa R, Tonda K, Shiga T, Strauss HW, Antoniades C, Narula J, Jinzaki M.	核医学	Assessment of Myocardial 18F-FDG Uptake at PET/CT in Asymptomatic SARS- CoV-2-vaccinated and Nonvaccinated Patients.	Radiology. 2023 Sep;308(3)	Original Article

15	Seiko Suzushino, etc.	肝胆膵・移植外科学講座	Tissue-Engineered Hepatocyte Sheets Supplemental with Adipose-derived Stem Cells.	Tissue Eng Part A.	Original Article
16	Atsushi Nishimagi, etc.	肝胆膵・移植外科学講座	Aberrant phosphorylation of human LRH1 at serine 510 is predictable of hepatocellular carcinoma recurrence.	Clinical and Experimental Medicine	Original Article
17	Mukai R, Kataoka K, Tanaka K, et al.	眼科	Three-month outcomes of faricimab loading therapy for wet age-related macular degeneration in Japan.	Sci Rep. 2023; 30;13:8747.	Original Article
18	Mukai R, Itagaki K, Honjyo J, et al.	眼科	Relationship between pulsation of posterior vortex vein, choroidal thickness, and choroidal vascular hyperpermeability in polypoidal choroidal vasculopathy.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2023;261:3475–3480.	Original Article
19	Maehara H, Norikawa K, Tanaka K, et al.	眼科	Complement activation products in tears of dry eye and meibomian gland dysfunction.	Sci Rep. 2024;14:43.	Original Article

20	Maehara H, Norikawa K, Tanaka K, et al.	眼科	Tear fluid and complement activation products in tears after ocular surgery.	BMC Ophthalmol. 2023;23:329	Original Article
21	Fukatsu M, Hamazaki Y, Sato Y, et al	血液内科学講座	A case of cold agglutinin syndrome associated with chronic lymphocytic leukaemia harbouring mutations in CARD11 and KMT2D.	Int J Hematol. 2023 Oct;118(4):472-476.	Case report
22	Hayashi K, Koyama D, Sato Y, et al.	血液内科学講座	Lymphoplasmacytic lymphoma presenting cold agglutinin syndrome: Clonal expansion of KMT2D and IGHV4-34 mutations after COVID-19.	Br J Haematol. 2023 Dec;203(5):e110-e113.	Letter
23	Sato Y, Fukatsu M, Suzuki T, et al.	血液内科学講座	Successful allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for myelodysplastic neoplasms complicated with secondary pulmonary alveolar proteinosis and Behcet's disease harboring GATA2 mutation.	Int J Hematol. 2023 Nov;118(5):642-646.	Case report
24	Fukuchi K, Koyama D, Takada M, et al.	血液内科学講座	Mutated ZRSR2 and CUL3 accelerate clonal evolution and confer venetoclax resistance via RAS signaling pathway in blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm.	Int J Hematol. 2023 Oct;118(4):489-493.	Case report

25	Hamada K, Isobe J, Hattori K, et al.	呼吸器外科	Turicibacter and Acidaminococcus predict immune-related adverse events and efficacy of immune checkpoint inhibitor.	Front Immunol. 2023 May 3;14:1164724	Original Article
26	Takagi H, Muto S, Enta A, et al.	呼吸器外科	A case of discordant histology and expression of programmed death ligand 1 between primary tumor and brain metastases in adenosquamous carcinoma of the lung	Thorac Cancer. 2023 Sep;14(26):2707-2711	Case report
27	Matsumura Y, Hayasaka K, Ohira T, et al.	呼吸器外科	Long-term follow-up of a consecutive cohort validating an epidermal growth factor receptor mutation as an independent risk factor for postoperative recurrence in lung adenocarcinoma	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2023 Nov 2;37(5):ivad174	Original Article
28	Maruya Y, Yamaura T, Mine H, et al.	呼吸器外科	Successful pericardial repair and coverage for late pacemaker lead-related atrial perforation and pneumothorax: a case report	General Thoracic and Cardiovascular Surgery Cases. 2023 Nov 22; 2: 102	Case report
29	Yasuhiro Suzuki , Junpei Saito, Atsuro Fukuhara, et al.	呼吸器内科学講座	Effect of Colchicine on Recurrent Serositis in Familial Mediterranean Fever	The American journal of medicine 2023 Jun;136(6)	Case report

30	Yoko Shibata , Kenji Omae, Hiroyuki Minemura, et al.	呼吸器内科学講座	Development and external validation of the DOAT and DOATS scores: simple decision support tools to identify disease progression among nonelderly patients with mild/moderate COVID-19	BMC Pulmonary Medicine 2023 Aug 28;23(1):312.	Original Article
31	Suguru Sato, Yasuhito Suzuki, Masami Kikuchi, et al.	呼吸器内科学講座	Sputum Neurturin Levels in Adult Asthmatic Subjects	Journal of Asthma and Allergy 2023 Aug 31:16:889–901.	Original Article
32	Yasuhito Suzuki, Yoko Shibata, Hiroyuki Minemura,et al.	呼吸器内科学講座	Real-world clinical outcomes of treatment with molnupiravir for patients with mild-to-moderate coronavirus disease 2019 during the Omicron variant pandemic	Clinical and Experimental Medicine 2023 Oct;23(6):2715–2723.	Original Article
33	Imaizumi M, Suyama K, Goto A, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Flowchart for selecting an appropriate surgical airway in neurologically impaired pediatric intubated patients: a case series.	Braz J Otorhinolaryngol. 2023 Sep-Oct, 89(5): 101290.	Original Article
34	Imaizumi M, Murono S	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Will levels of experience of examiners affect the diet provided for patients with swallowing impairment?	Auris Nasus Larynx. 2023 Oct, 50(5): 765–769.	Original Article

35	Shinju Obara , Rieko Oishi, Yuko Nakano, et al.	手術部	Marked improvement in severe postherpetic itching following an epidural block: a case report	JA Clin Rep . 2023 May 15;9(1):24.	Case report
36	Shinju Obara, Keisuke Yoshida , Satoki Inoue	手術部	How obesity affects the disposition of intravenous anesthetics	Curr Opin Anaesthesiol. 2023 Aug 1;36(4):414-421.	Review
37	Natori Y, Suga J, Tokuda E, Tachibana K, Imai J-i, Honma R, Azami Y, Noda M, Sasaki E, Watanabe S, Ohtake T, Saji S.	腫瘍内科学講座	E3 Ubiquitin Ligase NEDD4 Affects Estrogen Receptor α Expression and the Prognosis of Patients with Hormone Receptor-Positive BreastCancer.	Cancers. 2023 Jan;15(2):539	Original Article
38	Murakami-Nishimagi Y, Sugimoto K, Kobayashi M, Tachibana K, Kojima M, Okano M, Hashimoto Y, Saji S, Ohtake T, Chiba H.	基礎病理学講座	Claudin-4-adhesion signaling drives breast cancer metabolism and progression via liver X receptor β .	Breast Cancer Res. 2023 Apr 14;25(1):41.	Original Article
39	Yoshida K, Tokimura S.	集中治療部	To prevent accidental administration of disinfectants used for skin disinfection in epidural anesthesia	Reg Anesth Pain Med . 2023 Oct;48(10):533.	Letter

40	Jun Honda , Yuya Itakura, Shiori Tanaka,,et al.	集中治療部	Successful use of an antithrombin for heparin resistance with andexanet alfa	JA Clin Rep. 2023 May 17;9(1):26.	Case report
41	Honda J, Obara S, Inoue S.	集中治療部	Obstacles to ultrasound-guided internal jugular vein central venous catheter insertion	Saudi J Anaesth. 2023 Jul-Sep;17(3):455-456.	Case report
42	Jun Honda, Takahiro Hakozaki, Takayuki Hasegawa, et al.	集中治療部	Use of Intraoperative Transesophageal Echocardiography and Epiaortic Ultrasound to Diagnose False Lumen Enlargement of Chronic Aortic Dissection	Ann Card Anaesth . 2023 Jul-Sep;26(3):333-335.	Case report
43	Keisuke Yoshida , Ryosuke Sasaki, Shiori Tanaka, et al.	集中治療部	A case of markedly enlarged blood vessels in the intercostal and paravertebral spaces in a patient with severe liver failure	JA Clin Rep . 2023 Aug 10;9(1):51.	Case report
44	Keisuke Yoshida, Ko Kakinouchi	集中治療部	Does a single ultrasound-guided peripheral nerve block always require a full aseptic technique?	Reg Anesth Pain Med . 2023 Aug 22:rapm-2023-104931.	Letter

45	Jun HONDA, Takahiro HAKOZAKI , Shinju OBARA,,et al.	集中治療部	Remimazolam anesthesia for off pump coronary artery bypass grafting and transfemoral transcatheter aortic valve implantation combined surgery in patients with angina pectoris with low flow, low gradient aortic stenosis	JJSCA . 2023 ;43(5):400–405.	Case report
46	Jun Honda, Masahiro Murakawa, Satoki Inoue	集中治療部	Effect of averaging time and respiratory pause time on the measurement of acoustic respiration rate monitoring	JA Clin Rep. 2023 Sep 29;9(1):61.	Original Article
47	Jun Honda, Shiori Tanaka, Takahiro Hakozaki, et al.	集中治療部	Airway distortion in mucopolysaccharidoses	Can J Anaesth. 2023 Dec;70(12):2004–2005.	Case report
48	Keisuke Yoshida, Shiori Tanaka, Kazuhiro Watanabe	集中治療部	Hanging-Drop Technique Is More Suitable for Epidural Space Confirmation in Patients With Subcutaneous Emphysema After Traumatic Multiple Rib Fractures	J Cardiothorac Vasc Anesth . 2023 Dec;37(12):2689–2690.	Case report
49	Jun Honda, Shiori Tanaka, Keisuke Yoshida, et al.	集中治療部	Abnormally Low Regional Cerebral Oxygen Saturation after Induction of Anesthesia without Neurological Abnormality: A Case Report	Ann Card Anaesth . 2023 Oct-Dec;26(4):442–445.	Case report

50	Keisuke Yoshida , Yuko Nakano, Satoki Inoue	集中治療部	Pitfalls of continuous drug administration methods in pediatric anesthesia to reduce medication errors	JA Clin Rep . 2023 Dec 20;9(1):90.	Letter
51	Takahiro Hakozaki , Takayuki Hasegawa , Satoki Inoue	集中治療部	Integrated Assessment of Discrepancy Between Tracheal Tube and Tube Exchanger as Advancement: A Manikin Simulation Study	Asian J Anesthesiol . 2023 Dec 1;61(4):169-175.	Original Article
52	Satoshi Abe, Akiomi Yoshihisa, Himika Ohara, et al	循環器内科	Calcium-phosphorus product is associated with adverse prognosis in hospitalized patients with heart failure and chronic kidney disease	International Heart Journal. 2024 Jun: 65(1): 84-93	Original Article
53	Takeshi Nehashi, Takashi Kaneshiro, Minoru Nodera, et al	循環器内科	Characteristics of right pulmonary vein with an epicardial connection needing additional carina ablation for isolation	Journal of Arrhythmia. 2023 Jul: 39(6): 884-893	Original Article
54	Tomofumi Misaka, Akiomi Yoshihisa, Tetsuro Yokokawa, et al	循環器内科	Effects of continuous positive airway pressure on very short-term blood pressure variability associated with sleep-disordered breathing by pulse transit time-based blood pressure measurements	Journal of Hypertension. 2023 Jul: 41(5): 733-740	Original Article

55	Tetsuya Tani, Masayoshi Oikawa, Tomofumi Misaka, et al	循環器内科	Heart failure post-myocardial infarction promotes mammary tumor growth through the NGF-TRKA pathway	JACC: CardioOncology. 2024 Jul; 6(1): 55–66	Original Article
56	Himika Ohara, Akiomi Yoshihisa, Shinji Ishibashi, et al	循環器内科	Hepatic venous stasis index reflects hepatic congestion and predicts adverse outcomes in patients with heart failure	Journal of the American Heart Association. 2023 Sep; 12(12): e029857 (オンライン)	Original Article
57	Yuya Sakuma, Takeshi Shimizu, Yuta Kurosawa, et al	循環器内科	Impact of bleeding event for new cancer diagnosis in patients with antiplatelet therapy after percutaneous coronary intervention	Journal of Cardiology. 2023 Sep; 82(6): 460–466	Original Article
58	Daisuke Isomatsu, Akihiko Sato, Yuuki Muto, et al	循環器内科	Predictive value of aortic valve calcium volume measured by computed tomography for paravalvular leakage after transcatheter aortic valve implantation	International Heart Journal. 2024 Oct; 65(1): 63–70	Original Article
59	Kazuto Nishiura, Tetsuro Yokokawa, Tomofumi Misaka, et al	循環器内科	Prognostic role of circulating LTBP-2 in patients with dilated cardiomyopathy: a novel biomarker reflecting extracellular matrix LTBP-2 accumulation	Canadian Journal of Cardiology. 2023 Oct; 39(10): 1436–1445	Original Article

60	Tomofumi Misaka, Akiomi Yoshihisa, Yasuhiro Ichijo, et al	循環器内科	Prognostic significance of spleen shear wave elastography and dispersion in patients with heart failure: the crucial role of cardio-splenic axis	Clinical Research in Cardiology. 2023 Oct; 112(7): 942–953	Original Article
61	Yu Sato, Akiomi Yoshihisa, Tomomi Ide, et al	循環器内科	Regional variation in the clinical practice and prognosis in patients with heart failure with reduced ejection fraction in Japan – A report from the Japanese Registry of Acute Decompensated Heart Failure (JROADHF)	Circulation Journal. 2023 Nov; 87(10): 1380–1391	Original Article
62	Yusuke Tomita, Fumiya Anzai, Tomofumi Misaka, et al	循環器内科	Targeting N-myristoylation through NMT2 prevents cardiac hypertrophy and heart failure	JACC: Basic to Translational Science. 2023 Dec; 8(10): 1263–1282	Original Article
63	Daisuke Isomatsu, Akihiko Sato, Yuya Sakuma, et al	循環器内科	The prognostic implications of living alone on long-term mortality in patients with chronic coronary syndrome after percutaneous coronary intervention	International Heart Journal. 2023 Dec; 64(4): 584–589	Original Article
64	Shinya Yamada, Takashi Kaneshiro, Minoru Nodera, et al	循環器内科	Utility of short-time electrocardiogram to assess risk for atrial arrhythmia recurrence: Impact of atrial premature beat occurrence 1 day after pulmonary vein isolation for atrial fibrillation	Journal of Cardiovascular Electrophysiology. 2023 Dec; 34(9): 1969–1978	Original Article

65	Shohei Ichimura, Masayoshi Oikawa, Ayano Ikeda, et al	循環器内科	A case of COVID-19-associated fulminant myocarditis due to SARS-CoV-2 omicron BA.2 sub-lineage in an unvaccinated female	Journal of Cardiology Cases. 2023 Jan; 28(1): 1-3	Case report
66	Kazuto Nishiura, Kazuhiko Nakazato, Tetsuro Yokokawa, et al	循環器内科	A case of giant goiter associated with airway stenosis caused by long-term intravenous epoprostenol therapy for idiopathic pulmonary arterial hypertension	Journal of Clinical Medicine. 2023 Jan; 12(19): 6359 (オンライン)	Case report
67	Keiichiro Endo, Takeshi Shimizu, Yuuki Muto, et al	循環器内科	Acute coronary syndrome with severe coronary calcification in a patient with pseudo-pseudohypoparathyroidism	Journal of Cardiology Cases. 2023 Feb; 28(4): 172-175	Case report
68	Takeshi Shimizu, Satoshi Abe, Tomoyuki Asano, et al	循環器内科	Perioperative immunosuppressive therapy and coronary ostial angioplasty for unstable angina with Takayasu arteritis	Journal of Cardiology Cases. 2023 Oct; 28(6): 257-260	Case report
69	Kazuhiko Nakazato, Koichi Sugimoto, Masayoshi Oikawa, et al	循環器内科	Balloon pulmonary angioplasty for chronic thromboembolic pulmonary hypertension: its history and development, and regional medical cooperation in Fukushima	Fukushima Journal of Medical Science. 2023 May; 69(3): 167-176	Review

70	Kazuhiro Mochizuki	小兒腫瘍内科	Harnessing allogeneic CD4+ T cells to reinvigorate host endogenous antitumor immunity	Fukushima J Med Sci • 2023 Nov 15. 69(3):157–165	Review
71	Fukai S, Nakajima S, Saito M,et al.	消化管外科	Down-regulation of stimulator of interferon genes (STING) expression and CD8+T-cell infiltration depending on HER2 heterogeneity in HER2-positive gastric cancer.	Gastric Cancer. 26(6):878–890, 2023.	Original Article
72	Ito M, Mimura K, Nakajima S,et al.	消化管外科	M2 tumor-associated macrophages resist to oxidative stress through heme oxygenase-1 in the colorectal cancer tumor microenvironment.	Cancer Immunol Immunother. 72(7):2233–2244, 2023.	Original Article
73	Katagata M, Okayama H, Nakajima S,et al.	消化管外科	TIM-3 Expression and M2 Polarization of Macrophages in the TGF β -Activated Tumor Microenvironment in Colorectal Cancer.	Cancers (Basel). 15(20):4943, 2023.	Original Article
74	Matsumoto T, Ohki S, Kaneta A,et al.	消化管外科	Systemic inflammation score as a preoperative prognostic factor for patients with pT2-T4 resectable gastric cancer: a retrospective study.	BMC Surg. 23(1):8, 2023.	Original Article

75	Mimura K, Ogata T, Yoshimoto Y,et al.	消化管外科	Phase I/II clinical trial of nivolumab in combination with oligo-fractionated irradiation for unresectable advanced or recurrent gastric cancer.	Commun Med (Lond). 3(1):111, 2023.	Original Article
76	Nakajima S, Kaneta A, Okayama H,et al.	消化管外科	The Impact of Tumor Cell-Intrinsic Expression of Cyclic GMP-AMP Synthase (cGAS)-Stimulator of Interferon Genes (STING) on the Infiltration of CD8+ T Cells and Clinical Outcomes in Mismatch Repair Proficient/Microsatellite Stable Colorectal Cancer.	Cancers (Basel). 15(10):2826, 2023.	Original Article
77	Nakajima S, Mimura K, Kaneta A, et al.	消化管外科	Radiation-Induced Remodeling of the Tumor Microenvironment Through Tumor Cell-Intrinsic Expression of cGAS-STING in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 115(4):957-971, 2023.	Original Article
78	Sakuma M, Mimura K, Nakajima S,et al.	消化管外科	A Potential Biomarker of Dynamic Change in Peripheral CD45RA-CD27+CD127+Central Memory T Cells for Anti-PD-1 Therapy in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Cancers (Basel). 15(14):3641, 2023.	Original Article
79	Sato T, Saito M, Nakajima S,et al.	消化管外科	A Potential Biomarker of Dynamic Change in Peripheral CD45RA-CD27+CD127+Central Memory T Cells for Anti-PD-1 Therapy in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Gastric Cancer. 26(3):379-392, 2023.	Original Article

80	Irie H, Suzuki R, Okubo Y, et al	消化器内科	Clinical benefit of subsequent chemotherapy after drug-induced interstitial lung disease in pancreatic cancer patients: a multicenter retrospective study from Japan.	BMC Cancer. 2023 Apr 6;23(1):316	Original Article
81	Hayashi M, Abe K, Fujita M, et al.	消化器内科	Combination of psoas muscle mass index and neutrophil-to-lymphocyte ratio as a noninvasive prognostic marker in hepatocellular carcinoma patients undergoing radiofrequency ablation.	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2023 May 1;35(5):568-574.	Original Article
82	Nakamura R, Arakawa N, Tanaka Y, et al.	消化器内科	Significant association between HLA-B*35:01 and onset of drug-induced liver injury caused by Kampo medicines in Japanese patients.	Hepatol Res. 2023 May;53(5):440-449.	Original Article
83	Yanagita T, Hikichi T, Nakamura J, et al.	消化器内科	Novel photodynamic therapy for esophageal squamous cell carcinoma following radiotherapy.	Life (Basel). 2023 May 29;13(6):1276.	Original Article
84	Kawashima K, Hikichi T, Onizawa M, et al.	消化器内科	Characteristics of positive horizontal margins in patients who underwent colorectal endoscopic submucosal dissection.	DEN Open. 2023 Oct 12;4(1):e300.(オンライン)	Original Article

85	Takahashi A, Takahata Y, Kokubun M, et al.	消化器内科	Association between equol and non-alcoholic fatty liver disease in Japanese women in their 50s and 60s.	J Gastroenterol Hepatol. 2023 Nov;38(11):1958–1962.	Original Article
86	Kato T, Hikichi T, Kobayakawa M, et al.	消化器内科	L-menthol for color difference change between early gastric cancer and surrounding mucosa: A prospective study.	Dig Dis Sci. 2024 Mar;69(3):922–932.	Original Article
87	Hayashi M, Abe K, Sugaya T, et al.	消化器内科	Influence of serum Gas6 levels on prognosis in patients with hepatocellular carcinoma.	Jpn J Clin Oncol. 2024 Jan 7;54(1):62–69.	Original Article
88	Abe N, Hikichi T, Waragai Y, et al.	消化器内科	Retroperitoneal liposarcoma with pancreatic metastasis and gastric cancer: a case report.	Clin J Gastroenterol. 2023 Apr;16(2):164–170.	Case report
89	Yoshida S, Temmoku J, Asano T, Iwasaki T, et al.	消化器内科	Severe Enteritis after Cyclophosphamide Administration in a Patient with Microscopic Polyangiitis: A Case Report and Literature Review.	Intern Med. 2023 May 1;62(9):1279–1285.	Case report

90	Yanagita T, Hikichi T, Waragai Y, et al.	消化器内科	Mixed high-grade serous and large cell neuroendocrine carcinoma arising from rectal endometriosis 11 years after hysterectomy.	Clin J Gastroenterol. 2023 Jun;16(3):366–371.	Case report
91	Watahiki Y, Kawashima K, Onizawa M, et al.	消化器内科	Cecal Volvulus with Typical Whirlpool Sign.	Intern Med. 2023 Jun 1;62(11):1693–1694.	Case report
92	Hayashi M, Matsuda M, Yamadera Y, et al.	消化器内科	Isolated small bowel varices diagnosed by contrast-enhanced ultrasound.	Am J Gastroenterol. 2023 Jun 1;118(6):931.	Case report
93	Watahiki Y, Kawashima K, Hikichi T, et al.	消化器内科	A balloon-assisted endoscopic submucosal dissection using long colonoscope and guidewire.	DEN Open. 2023 Jun 15;4(1):e259.	Case report
94	Suto K, Hikichi T, Shioya Y, et al.	消化器内科	A healthy young patient with hepatic portal vein gas due to acute gastric dilatation: a case report.	Clin J Gastroenterol. 2023 Aug;16(4):593–598.	Case report

95	Watanabe S, Hikichi T, Yanagita T, et al.	消化器内科	Esophageal squamous cell carcinoma complicated with varices successfully treated by endoscopic injection sclerotherapy and argon plasma coagulation: A case report.	DEN Open. 2024 Feb 28;4(1):e348. (オンライン)	Case report
96	Nakamura J, Hikichi T, Hashimoto M, et al.	消化器内科	Pull-back myotomy to prevent mucosal injury during peroral endoscopic myotomy for jackhammer esophagus.	Endoscopy. 2024 Dec;56(S 01):E362–E363.	Others
97	Yuya Fukuda, Kinshi Kato , Kenichi Otoshi, et al.	整形外科	Rib stress fracture in a female athlete caused by bouncing the barbell in bench press exercise: A case report	SAGE Open Medical Case Reports 18 August 2023	Case report
98	Tatsuru Sonobe, Michiyuki Hakozaki, Yohei Matsuo,et al.	整形外科	Knee locking caused by osteochondroma of the proximal tibia adjacent to the pes anserinus: A case report	World Journal of Clinical Cases 2023 August 16; 11(23): 5595–5601	Case report
99	Kazuo Ouchi, Naoyuki Oi, Mari Sato,et al.	整形外科	Chopart amputation with tendon balancing	Fukushima J. Med. Sci., 67 Vol. 69, No. 1, 202 2023/2/28	Case report

100	Kenichi Otoshi , Shinichi Kikuchi, Koji Otani,et al.	整形外科	Potential influencing factor on health-related quality of life in Japanese with knee osteoarthritis: the Locomotive syndrome and Health outcome in Aizu cohort Study (LOHAS)	Journal of experimental orthopaedics 10 (1) 88 2023/8	Original Article
101	Kenichi Otoshi,Shinichi Kikuchi,Takahiro Igari,et al.	整形外科	Voluntary reducible recurrent anterior dislocation of radial head in juvenile baseball player. A case report and review of the literatures	JSES Reviews, Reports, and Techniques Volume 3, Issue 3 , August 2023, Pages 436–442	Case report
102	Kobayashi Hiroshi, Sekiguchi Miho, Otani Kouji,et al.	整形外科	Assessment of Lumbar Spinal Stenosis as a Risk Factor for Development of Sleep Disorder: The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS)	International journal of general medicine 16 5417 – 5424 2023(ISSN:1178-7074)	Original Article
103	Kenji Kobayashi, Koji Otani, Miho Sekiguchi, et al.	整形外科	Relationship between lumbar facet joint osteoarthritis and comorbidities: A cross-sectional study in the Japanese community	Journal of Orthopaedic Science Volume 29, Issue 3 , May 2024, Pages 769–774	Original Article
104	Yota Kaneko , Hiroaki Minehara , Tatsuru Sonobe ,et al.	整形外科	Differences in macrophage expression in induced membranes by fixation method - Masquelet technique using a mouse's femur critical-sized bone defect model	Injury Vol. 55Issue 6Published online: October 18, 2023	Original Article

105	Kinshi Kato , Kenichi Otoshi . Ryoji Tominaga,et al.	整形外科	Age-Related Differences in the Limited Range of Motion of the Lower Extremity and Their Relation to Low Back Pain in Young Baseball Players: A Cross-Sectional Study of 1215 Players	Sports Med Open. 9 (1) 26 2023/5	Original Article
106	Kinshi Kato, Shoji Yabuki, Koji Otani, et al.	整形外科	A muscle-preserving, spinous process-splitting approach for ossification of the ligamentum flavum in the thoracic spine in professional athletes: a report of three cases.	Fukushima J Med Sci. 69 (2) 143 – 150 2023/8	Original Article
107	Nakagawa, Hiroaki	総合内科・総合診療学講座	Poor Sleep Quality as a Risk Factor for Constipation Among Community-Dwelling Older Adults in Japan	Cureus 15 (9): e46175.	Original Article
108	Nakagawa, Hiroaki	総合内科・総合診療学講座	Ruptured Baker's Cyst	The American Journal of the Medical Sciences, January. https://doi.org/10.1016/j.amjms.2023.01.006 .	Case report
109	Nakagawa, Hiroaki	総合内科・総合診療学講座	A Clue to Night Epileptic Seizure	The American Journal of the Medical Sciences, August. https://doi.org/10.1016/j.amjms.2022.08.007 .	Case report

110	Nagai,K. Muto, Y. Miura, S. et al.	脳神経外科	Brain-specific glycosylation enzyme GnT-IX maintains levels of protein tyrosine phosphatase receptor PTPRZ, thereby mediating glioma growth	Journal of Biological Chemistry, 2023, 299(9), 105128	Original Article
111	Hiruta, R. Saito, K. Bakhit, M. et al.	脳神経外科	Current progress in genomics and targeted therapies for neurofibromatosis type 2	Fukushima Journal of Medical Sciences	Review
112	Kikuta H, Jinguji S, Sato T, Bakhit M, Hiruta R, Sato Y, Sekine R, Tanabe H,Okada M, Saito K, Fujii M.	脳神経外科	A Collision Tumor of Pit-1/SF-1-positive Double Pituitary Adenoma and a Craniopharyngioma Coexisting with Graves' Disease	NMC Case Rep J. 2023 Jun 6;10:169-175	Case report
113	Bakhit M, Fujii M.	脳神経外科	Gender Differences in the Cortical Distribution of Corpus Callosum Fibers	Cureus. 2024 Mar 10;16(3):e55918	Original Article
114	Ito Y, Kojima T, Kobayashi T, Sato N, Konno Y, Oda K, Fujii M.	脳神経外科	Mechanical Thrombectomy for Patients with Occlusions in Both the Anterior Cerebral Artery and Middle Cerebral Artery: Case Series and Review of the Literature	J Neuroendovasc Ther. 2023;17(6):114-11	Case report

115	桐花悠介	泌尿器科学講座	Coincidental occurrence of bilateral neonatal testicular torsion, with an extravaginal and a contralateral intravaginal testicular torsion	IJU Case Reports (2023) 6, 465--467	Case report
116	胡口智之	泌尿器科学講座	The efficacy of molecular targeted therapy and nivolumab therapy for metastatic non-clear cell renal cell carcinoma: A retrospective analysis using the Michinoku Japan urological cancer study group database	Cancer Medicine. 2023;12:20677-20689	Original Article
117	植村元秀	泌尿器科学講座	The current status of prostate cancer treatment and PSMA theranostics	Ther Adv Med Oncol 2023, Vol. 15: 1-17	Review
118	秦淳也	泌尿器科学講座	Mechanism of Androgen-Independent Stromal Proliferation in Benign Prostatic Hyperplasia	Int. J. Mol. Sci. 2023, 24, 11634	Review
119	星誠二	泌尿器科学講座	PSMA Targeted Molecular Imaging and Radioligand Therapy for Prostate Cancer: Optimal Patient and Treatment Issues	Curr. Oncol. 2023, 30, 7286-7302.	Review

120	星誠二	泌尿器科学講座	Unilateral adrenalectomy for a drug-resistant bilateral primary aldosteronism with heart failure: pathophysiology and surgical indication	BMC Endocrine Disorders (2023) 23:243	Case report
121	赤井畠秀則	泌尿器科学講座	Involvement of Mast-Cell-Tryptase- and Protease-Activated Receptor 2-Mediated Signaling and Urothelial Barrier Dysfunction with Reduced Uroplakin II Expression in Bladder Hyperactivity Induced by Chronic Bladder Ischemia in the Rat	Int. J. Mol. Sci. 2023, 24, 3982	Original Article
122	目黒了	泌尿器科学講座	Concurrent Reduced Expression of Contiguous PKD1, TSC2 and NTHL1 Leading to Kidney Diseases and Multiple Diverse Renal Cancers	CANCER GENOMICS & PROTEOMICS 20: 40–50 (2023)	Original Article
123	眞壁俊太	泌尿器科学講座	SMARCB1-deficient basal cell carcinoma of the prostate controlled using radiation therapy	IJU Case Reports (2023) 6, 248--252	Case report
124	長谷川暁久	泌尿器科学講座	Cavernous hemangioma in the bladder of an 8-year-old boy	Urology Case Reports 51 (2023) 102546	Case report

125	片岡政雄	泌尿器科学講座	Role of puboperinealis and rectourethralis muscles as a urethral support system to maintain urinary continence after robot-assisted radical prostatectomy	Scientific Reports (2023) 13:14126	Others
126	Yamamoto T, Yamasaki K, Yamanaka K, Komine M, Kawakami T, Yamamoto O, Kanekura T, Higuchi T, Takahashi T, Matsushima Y, Kikuchi N;	皮膚科学講座	Japanese Dermatological Association Pyoderma Gangrenosum Treatment Guidelines Drafting Committee.	Clinical guidance of pyoderma gangrenosum 2022. J Dermatol 50; e253–e257, 2023.	Others
127	Hiraiwa T, Chen KR, Yamamoto T.	皮膚科学講座	Cutaneous arteritis: clinicopathological study of 21 cases.	J Cutan Immunol Allergy 6; 146–151, 2023.	Original Article
128	Rick J, Gould LJ, Marzano AV, Garg A, Chen D, Oakes DL, Dissemond J, Herfarth H, Friedman MA, Alavi A, Yamamoto T, Gerbens LAA, Thomas KS, Ortega-Loayza AG.	皮膚科学講座	The "Understanding Pyoderma Gangrenosum, Review and Assessment of Disease Effects (UPGRADE)" Project: a protocol for the development of the core outcome domain set for trials in pyoderma gangrenosum.	Arch Dermatol Res 315; 983–988, 2023.	Original Article
129	Mori T, Namikawa K, Yamazaki N, Kiniwa Y, Yamasaki O, Yoshikawa S, Inozume T, Kato H, Nakai Y, Fukushima S, Takenouchi T, Maekawa T, Matsushita S, Otsuka A, Nomura M, Maba	皮膚科学講座	Efficacy of salvage therapies for advanced acral melanoma after anti-PD-1 monotherapy failure: a multicenter retrospective study of 108 Japanese patients.	Front Med 10; 1229937, 2023.	Original Article

130	Mori T, Izumi T, Doi R, Kamimura A, Takai S, Teramoto Y, Nakamura Y.	皮膚科学講座	Immune checkpoint inhibitor-based therapy for advanced acral and mucosal melanoma.	Exp Dermatol 32: 276–289, 2023.	
131	Ishikawa M, Yamamoto T.	皮膚科学講座	Neutrophil extracellular traps formation in the lesional skin of various types of pyoderma gangrenosum.	Exp Dermatol 2023; 32: 2029–2033.	Original Article
132	Yamamoto T, Miura K, Eishi Y.	皮膚科学講座	Detection of Propionibacterium acnes in cutaneous lichenoid sarcoidosis in a patient with Blau syndrome.	Int J Dermatol 62; e353–e355, 2023.	Case report
133	Matsumura N, Yamamoto T.	皮膚科学講座	CD123 and MxA expression in a case of annular erythema associated with primary Sjögren's syndrome successfully treated with hydroxychloroquine.	Australas J Dermatol 64; e280–e282, 2023.	Case report
134	Ryo Yamakuni	放射線科	Relationship between lumbar spinal stenosis and cauda equina movement during the Valsalva maneuver.	Skeletal Radiol 2023; 52: 1349–1358.	Original Article

135	Ryo Yamakuni	放射線科	Prediction of anemia from cerebral venous sinus attenuation on deep-learning reconstructed brain computed tomography images.	J Comput Assist Tomogr 2023; 47: 796–805.	Original Article
136	Hirotoshi Hotsumi	放射線科	Investigation of tumor assessment between two PET systems using various indices: comparison between PET/CT and PET/MRI systems.	Am J Nucl Med Mol Imaging 2023; 13: 156–163.	Original Article
137	Hiroshi Ito	放射線科	Oxygen extraction fraction is not uniform in human brain: a positron emission tomography study.	J Physiol Sci 2023; 73: 25.	Original Article
138	Kenji Fukushima	放射線科	Simultaneous assessment of left ventricular mechanical dyssynchrony using integrated ^{13}N -ammonia PETMR system: direct comparison of PET phase analysis and MR feature tracking	J Nucl Cardiol 2023; 30: 1947–1958.	Original Article
139	Kenji Fukushima	放射線科	Comprehensive assessment of molecular function, tissue characterization, and hemodynamic performance by non-invasive hybrid imaging: Potential role of cardiac PETMR.	J Cardiol 2023; 82: 286–292.	Review

140	Hirofumi Sekino	放射線科	Conventional versus aspiration-type needles in CT-guided biopsy for chest pathologies/lesions: A comparative study.	Curr Med Imaging . 2023 May 18.	Original Article
141	Ryo Yamakuni	放射線科	Complete response of glottic cancer to intra-arterial infusion chemotherapy combined with radiotherapy: A report of 4 cases.	Radiol Case Rep 2023; 18: 4514–4521.	Case report
142	Ryo Yamakuni	放射線科	Lumbar intradural space reduction during the Valsalva maneuver observed using cine MRI and MR myelography: a single-case experimental study.	Acta Neurochir (Wien) 2023; 165: 2111–2120.	Case report
143	Ryo Yamakuni	放射線科	Different prognostic outcomes in two cases of FDG-PET/CT-Positive and -negative cardiac angiosarcoma	Fukushima J Med Sci . 2023 Apr 5;69(1):45–49.	Case report
144	Kazuya Kakuta, Atsushi Fukuda, Shumpei Nemoto, et al.	災害医療部	Radiation Dose Reduction in Carbon Dioxide Digital Subtraction Angiography: A Phantom Study	Japanese Journal of Education for Radiological Technology . 2023 Dec; 11: 23–30	Original Article

145	Kazuya Kakuta, Shumpei Nemoto, Masamitsu Ikeda.	災害医療部	Effect of shape of automatic dose rate control and wedge compensation filter on radiation dose in an angiography system with a flat-panel detector	Radiological Physics and Technology. 2023.Dec; 16(4): 560–568.	Original Article
146	Miyasaka Y, Yoshimoto Y, Ando K, et al	放射線治療科	CD8-positive Tumor-infiltrating Lymphocytes and Prognosis in Radiotherapy for Uterine Cervical Squamous Cell Carcinoma.	Anticancer Res 2023年5月	Original Article
147	Takehara Y, Tamaki T, Mimura K, et al	放射線治療科	Immunological Responses Associated with Neoadjuvant Therapy in the Tumor Microenvironment of Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Anticaner Res 2023年10月	Original Article
148	Yoshie Noji, Satoki Inoue, Kazuhiro Watanabe	麻酔・疼痛緩和科	Bilateral clavipectoral fascial plane block in single-stage surgery for bilateral midshaft clavicle fractures	JA Clin Rep. 2023 Apr 22;9(1):19.	Case report
149	Keisuke Kuwana, Makoto Kobayashi, Satoki Inoue	麻酔・疼痛緩和科	Failed ventilation via i-gel due to air leakage of the drainage port	JA Clin Rep . 2023 Sep 29;9(1):62.	Case report

150	Yuki Watanabe, Shinju Obara, Satoki Inoue	麻醉・疼痛緩和科	Total intravenous anesthesia management with simultaneous use of remimazolam and propofol: A case of three patients	SAGE Open Med Case Rep . 2023 Oct 5:11	Case report
151	Takayuki Hasegawa , Yuzo Iseki, Atsuyuki Hosono, et al.	麻醉・疼痛緩和科	The effect of unilateral chest drainage for transpulmonary pressure during mechanical ventilation	JA Clin Rep. 2023 Oct 28;9(1):72.	Original Article
152	Takayuki Hasegawa , Keisuke Yoshida, Takahiro Hakozaki, et al.	麻醉・疼痛緩和科	Severe pressure ulcer caused by an electrode belt for monitoring electrical impedance tomography in two patients in the prone position	JA Clin Rep. 2023 Nov 25;9(1):82.	Case report
153	Yuya Itakura, Takahiro Hakozaki, Satoki Inoue	麻醉・疼痛緩和科	Cardiac tamponade developing during Troussseau's syndrome with pulmonary embolism	JA Clin Rep . 2023 Dec 1;9(1):84.	Case report
154	Satoki Inoue	麻醉・疼痛緩和科	Family reunion activity may be used as an alternative item for sexual activity in the Duke Activity Status Index	JA Clin Rep . 2023 Dec 7;9(1):87.	Letter

155	Takahashi N, Mochizuki K, Kobayashi S, Ohara Y, Kudo S, Saito Y, Ikeda K, Ohto H, Kikuta A, Sano H	小兒腫瘍内科	T-Cell-Replete Haploididentical Hematopoietic Stem Cell Transplantation for a Patient With TCF3- HLF-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia Extramedullary Relapse After Unrelated Bone Marrow Transplantation	Journal of Pediatric Hematology/Oncology 2023年4月	Original Article
156	Sano T, Ueda K, Minakawa K, Mori T, Hashimoto Y, Koseki H, Takeishi Y, Ikeda K, Ikezoe T	血液内科	Impaired Repopulating Ability of Uhrf2(−/−) Hematopoietic Progenitor Cells in Mice.	Genes. 2023年7月	Original Article
157	Ikeda K, Nollet KE	輸血・移植免疫部	FIT for surgery: fractures, iron, and tranexamic acid.	The Lancet Haematology 2023年7月	Original Article
158	Ueda K, Ikeda K	輸血・移植免疫部	Cellular carcinogenesis in preleukemic conditions:drivers and defenses.	Fukushima Journal of Medical Science 2024年1 月	Original Article
159	Takahiro Sato, Motonobu Saito, Shotaro Nakajima, Katsuharu Saito, Masanori Katagata, Satoshi Fukai, Hirokazu Okayama, Wataru Sakamoto, Zenichiro Saze, Tomoyuki Momma, Kosaku Mimura, Koji Kono	消化管外科	"ARID1A deficiency is targetable by AKT inhibitors in HER2- negative gastric cancer "	Gastric Cancer 2023年5月	Original Article

160	Takehara Y, Mimura K, Suzuki Y, Watanabe Y, Yoshimoto Y, Saze Z, Sato H, Tamaki T, Kono K.	消化管外科	Anti-PD-1 monoclonal antibody-resistant esophageal squamous cell carcinoma showing the abscopal effect: A case report with T-cell receptor/B-cell receptor repertoire analysis.	Cancer Reports 2023年7月	Original Article
161	Yuka Takehara Tomoaki Tamaki, Kosaku Mimura, Katsuharu Saito, Prajwal Neupane, Takeshi Tada, Yohei Watanabe, Suguru Hayase, Zenichiro Saze, Yuya Yoshimoto, Hisashi Sato, Koji Kono, and Yoshiyuki Suzuki	消化管外科	Immunological Responses Associated With Neoadjuvant Therapy in the Tumor Microenvironment of Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Anticancer Research 2023 年10月	Original Article

計161件

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	菅野千敬	歯科口腔外科		Bone.2023.12月	Original Article
2	Hideaki Tanaka.	小児外科	Advances in pediatric liver transplantation from the pediatric surgeon's perspective.	Pediatr Surg Int.	Original Article
3	Kakeru Machino, etc	小児外科	Pre-operative Serum Albumin Predicts Native Liver Survival in Biliary Atresia.	Afr J Paediatr Surg	Original Article
4	Kakeru Machino, etc	小児外科	Strangulated bowel obstruction by idiopathic congenital band in very low birthweight infant.	Pediatric International.	Case report
5	Shimabukuro Michio	糖尿病内分泌代謝内科学講座	MAFLD and ASCVD: Plasma Heparin Cofactor II Activity as an Anti-liver Fibrosis Biomarker.	Scientific Reports, 13(1), 10927, 2023 Jul 5	Original Article
6	Shimabukuro Michio	糖尿病内分泌代謝内科学講座	L-Arginine, Nitric Oxide, and Endothelial Dysfunction Underlying Atherosclerotic Cardiovascular Disease (ASCVD)	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis, 30(10), 1311–1312, 2023 Oct 1	Original Article

7	Shimabukuro Michio	糖尿病内分泌代謝内科学講座	Nonsteroidal Mineralocorticoid Receptor Antagonists and Protection Against Cardiovascular Disease in Patients with Diabetes Mellitus	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis, 30(4), 321–322, 2023 Apr 1	Original Article
8	Yamaguchi Satoshi, Shimabukuro Michio, et al	糖尿病内分泌代謝内科学講座	Canagliflozin reduces proteinuria by targeting hyperinsulinaemia in diabetes patients with heart failure: A post hoc analysis of the CANDLE trial	Diabetes, Obesity & Metabolism, 25(2), 354–364, 2023 Feb	Original Article
9	Kudo Akihiro, Machii Noritaka, et al	糖尿病内分泌代謝内科学講座	Effect of dapagliflozin on 24-hour glycemic variables in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus receiving basal insulin supported oral therapy (DBOT): a multicenter, randomized, open-label, parallel-group study	BMJ Open Diabetes Research & Care, 11(2), e003302, 2023 Apr	Original Article
10	Shiroma Kaoi, Tanabe Hayato, et al	糖尿病内分泌代謝内科学講座	A nutritional assessment tool, GNRI, predicts sarcopenia and its components in type 2 diabetes mellitus: A Japanese cross-sectional study	Frontiers in Nutrition, 10, 1087471, 2023 Feb	Original Article
11	Yamaguchi Satoshi, Nadoyama N, et al	糖尿病内分泌代謝内科学講座	The Usefulness of Prioritization of Ivabradine Before Beta-Blockers in a Heart Failure Patient Suffering From Intra-hemodialysis Hypotension	Cureus, 15(6), e40609, 2023 Jun	Original Article
12	Shimabukuro Michio, Kamiya K	糖尿病内分泌代謝内科学講座	2023 Fukushima Medical University International Symposium on the Fukushima Health Management Survey, "Thinking Together about Health, Life, and our Future in Fukushima"	Fukushima Journal of Medical Science70(2), 107–109, 2024	Original Article
13	Shimabukuro Michio	糖尿病内分泌代謝内科学講座	MAFLD and Small Dense LDL Cholesterol: A Mechanistic Link	J Atheroscler Thromb . 2024 Jan 1;31(1):17–18.	Original Article
14	Yamaguchi Satoshi, Maeda M, et al	糖尿病内分泌代謝内科学講座	Sex differences in the association between epicardial adipose tissue volume and left atrial volume index	BMC Cardiovasc Disord . 2024 Jan 13;24(1):46	Original Article
15	Kono Teruyuki, Gulinu Maimaituxun, et al	糖尿病内分泌代謝内科学講座	Role of perirenal adiposity in renal dysfunction among CKD individuals with or without diabetes: a Japanese cross-sectional study	BMJ Open Diabetes Res Care . 2024 Mar 11;12(2):e003832	Original Article

計15件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の主な内容 福島県立医科大学における人を対象とする生命科学・医学系研究に関する規程 福島県立医科大学倫理審査委員会規程 福島県立医科大学倫理審査委員会運営要綱 	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 22 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
 2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適當な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定の主な内容 公立大学法人福島県立医科大学利益相反ポリシー 公立大学法人福島県立医科大学利益相反マネジメント要綱 公立大学法人福島県立医科大学利益相反自己申告に関する運用基準 	
③ 利益相反を審査し、適當な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 24 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 ①インフォームド・コンセント等について ②臨床研究の基礎知識と研究計画書の雛形 	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

1 専門研修プログラムの特徴

- (1) 19ある全ての基本領域で基幹施設として専門研修プログラムを運用している。
- (2) 希望する専門医資格が取得できるよう、基本領域の各プログラム責任者等と相談の上、最適な研修計画に基づき研修を行う。
- (3) 専門医資格取得に必要な症例・症状等を確保するため、当院と原則として各学会の認定施設である連携施設で研修を行う。
- (4) 大学院・大学院研究生の併願が可能であるため、安定した身分・待遇で働きながら医師として働きながら、大学院教育を受けることで、より充実した専門研修専門医研修が可能となる。
- (5) 医師のキャリアを見据えた幅広い一貫した教育を支援している。

2 専門研修プログラムの管理・運営組織

- (1) 専門研修プログラムに関する次の各号を行うため、専門医研修管理委員会を置く。

一 専門医研修の全体的な管理

二 専攻医の全体的な管理

三 専攻医の研修状況の評価

四 採用時における専門医研修希望者の評価

五 専門医研修の修了後、又は、中断後の進路について、相談等の支援を行うこと

- (2) 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

一 病院長

二 副病院長（教育研修・臨床研究担当）

三 部長会で選任した者 若干名

四 医療人育成・支援センター臨床医学教育研修部門長

五 臨床医学教育研修センター部長、又は、副部長

六 事務局次長（業務担当）

七 その他病院長が必要と認める者

- (3) 委員長は必要があると認める場合、専門医研修管理委員会のもとに、専門研修プログラム実務者会議を招集することができる。

3 研修期間

- (1) 期間は、各領域の専門医研修が定める期間とする。

- (2) 研修の中断期間の扱いについては各領域の専門研修プログラムが定める規程に準ずる。

4 指導体制

- (1) 専攻医は研修期間中、専門研修プログラムにおけるプログラム責任者の指導のもと研修を受ける。

- (2) 専門医研修管理委員会は必要と認めるときは、専門医研修にかかる実施の状況等について、各専門研修プログラム修責任者から報告等を求めることができる。

5 専門医研修の評価

各領域の専門研修プログラムで定めた評価項目に基づき、プログラム責任者が評価を行う。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 116. 6人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
八巻 尚洋	循環器内科	部長	27年	
池添 隆之	血液内科	部長	29年	
大平 弘正	消化器内科	部長	35年	
右田 清志	リウマチ・膠原病内科	部長	39年	
風間 順一郎	腎臓・高血圧内科	部長	35年	
島袋 充生	糖尿病・内分泌代謝内科	部長	35年	
金井 数明	脳神経内科	部長	23年	
柴田 陽光	呼吸器内科	部長	31年	
濱口 杉大	総合内科	部長	27年	
鈴木 弘行	呼吸器外科	部長	33年	
河野 浩二	消化管外科	部長	35年	
丸橋 繁	肝胆脾・移植外科	部長	28年	
大竹 徹	乳腺外科	部長	32年	
田中 秀明	小児外科	部長	30年	
鈴木 弘行	甲状腺・内分泌外科	部長	33年	
横山 斎	心臓血管外科	部長	39年	
藤井 正純	脳神経外科	部長	30年	
松本 嘉寛	整形外科	部長	27年	
小山 明彦	形成外科	部長	31年	
藤森 敬也	産科	部長	34年	
添田 周	婦人科	部長	25年	
細矢 光亮	小児科	部長	39年	
佐野 秀樹	小児腫瘍内科	部長	30年	
石龍 鉄樹	眼科	部長	38年	
山本 俊幸	皮膚科	部長	34年	
小島 祥敬	泌尿器科・副腎内分泌外科	部長	27年	
室野 重之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部長	30年	
三浦 至	精神科	部長	22年	
伊藤 浩	放射線科	部長	33年	
鈴木 義行	放射線治療科	部長	27年	
井上 聰己	麻酔・疼痛緩和科	部長	29年	
橋本 優子	病理診断科	部長	30年	
金子 哲治	歯科口腔外科	部長	21年	
伊関 憲	救急科	部長	28年	
大内 一夫	リハビリテーション科	部長	31年	
志村 浩己	検査部	部長	38年	
菅家 智史	総合診療	部長	18年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 竹石 恵知
管理担当者氏名	医療情報部長 井高 貴之

診療に関する諸記録	規則第二条の三第二項に掲げる事項	保管場所	管理方法
	病院日誌	病院管理課	月毎に記録し、管理・保管している。
	各科診療日誌	医療情報部	患者毎または記録毎に分類し電子カルテ・PACS及び、紙による管理・保管している。 なお、病院外への持出については、診療録管理要綱を設け、禁止している
	処方せん		
	手術記録		
	看護記録		
	検査所見記録		
	エックス線写真		
	紹介状		
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿 高度の医療の提供の実績 高度の医療技術の開発及び評価の実績 高度の医療の研修の実績 閲覧実績 紹介患者に対する医療提供の実績 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院管理課 医事課 経営企画室 医療安全管理部 教育研修支援課 病院管理課 医療連携・相談室 医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部 医療安全管理部

		保管場所	管理方法		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況 院内感染対策のための委員会の開催状況 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部	保管場所となっている各部門において、電子媒体又は、紙媒体により管理・保管を行っている。	
		医薬品安全管理責任者の配置状況 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況			
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況			
		医療機器安全管理責任者の配置状況 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況			
		医療機器の安全使用のために必要な情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	臨床工学センター		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部	保管場所となっている各部門において、電子媒体又は、紙媒体により管理・保管を行っている。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全使用部会	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部	
	医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況		
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況		
	監査委員会の設置状況	病院管理課	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況		
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況		
	職員研修の実施状況	医療安全管理部等	
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況		
	管理者が有する権限に関する状況	病院管理課	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 竹石 恒知	
閲覧担当者氏名	病院管理課長 吉田 紀之	
閲覧の求めに応じる場所	きぼう棟3階 病院管理課	
閲覧の手続の概要 閲覧の請求があった場合は、院内の規程に基づき諸記録の閲覧もしくは提供を行っている。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医師 延 0 件
	歯科医師 延 0 件
	国 延 0 件
	地方公共団体 延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理に関する基本的考え方 2. 医療安全管理委員会その他の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 <p>(高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合には、関係学会から示される「基本的考え方」、ガイドライン等を参考に実施することを含む。)</p> 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて) : <p>職員の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識向上を図るため、全職員を対象に下記の研修を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外部講師(国立大学法人三重大学附属病院副病院長・医療安全管理部長)による医療安全に関する講話 2. 医療安全・医薬品、医療機器、人工呼吸器、鎮静に関すること 3. 医療安全、医薬品、医療機器、感染管理、災害医療、情報セキュリティに関すること 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善の方策の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1. 当院で発生した事故を委員会に報告する。 2. 当院の「医療安全管理マニュアル」に従い事例の収集・分析を行う。把握された問題点について病院組織として改善策を策定し、必要に応じ実施状況を調査する。これらの情報は院内に周知を図っている。 3. 重大な事故発生の場合は、速やかに管理者へ報告する。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染管理に関する基本的な考え方 2. 院内感染管理のための委員会等 3. 院内感染管理のための職員研修 4. 感染情報等に基づく院内感染管理を目的とした改善対策 5. 院内感染発生時等の対応 6. 患者等に対する本指針の閲覧 7. その他 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <p>毎月の耐性菌検出状況及び感染症発生状況報告 毎月のICTラウンド結果報告 指定抗菌薬長期使用者報告 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）活動報告 各種院内感染対策マニュアル改訂案の協議・承認 アウトブレイク事例・ICT介入事例報告 各種サーベイランス結果報告 職員研修実施状況報告</p> 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 17 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて） : <p>新採用者・中採用者・復職者研修：（標準予防策・感染経路別予防策職業感染予防策等の講義及び実習） 院内感染対策研修（外部講師）： 第1回 インフルエンザとCOVID-19の最近の話題 第2回 微生物検査の検体採取、薬剤耐性菌への当院の取り組み、感染制御と消毒薬 医療安全・感染管理合同研修：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染対策マニュアル改訂内容について～混乱していませんか？～ 看護補助者（夜勤助手も含む）研修：病院環境清掃、COVID-19対策について E-learning：（標準予防策・感染経路別予防策） 感染管理自己学習コース：標準予防策、VRE、創処置、感染予防のための器材取り扱い基準、COVID-19マニュアル内容および7月発行ICT通信内容 BSI防止研修 新規採用者看護助手研修：病院で働くために行ってほしいこと 一類感染症勉強会 栄養管理部勉強会 委託職員研修：感染予防の基礎知識等</p> 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <p>ICTラウンドによる現場状況チェックと改善指導・介入及び結果確認 （定例：1回/週、その他耐性菌新規検出時随時ラウンド実施） 各種感染対策マニュアルの見直し・改訂作業 抗菌薬適正使用支援チーム（AST）による抗菌薬の使用状況把握と抗MRSA薬のTDM実施 及びこれらに基づく抗菌薬コンサルテーションの実施 SSI/BSI/UTI/VAE/耐性菌のサーベイランスによる問題抽出と分析、対策のフィードバック COVID-19やインフルエンザ発生動向調査および院内曝露者への対策やベッドコントロール、面会制限等、アウトブレイク予防対策の実施 COVID-19対策の実施、クラスター対策の実施</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 1) ダブルチェックについて（注射・内服薬準備時、麻薬の管理など） 2) 未承認医薬品及び、適応外使用に関する審査制度について 3) 医薬品を安全に使用するためには <ul style="list-style-type: none"> i: 日本医療機能評価機構「医薬品安全性情報」からの注意喚起とその解説 <ul style="list-style-type: none"> ・ カリウム製剤の投与方法間違い ・ バック型キット製剤の隔壁の未開通 ・ インスリンの単位について ・ 薬剤の中止の遅れによる手術・検査の延期 ・ 抗凝固剤・抗血小板剤の再開忘れ ・ PTPシートの誤飲 ii: 当院のインシデント事例への対策について <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤のホチキス止めの禁止について ・ 抗がん薬のインシデントについて ・ 三文字検索による処方間違いについて 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容 : <p>医薬品の採用・購入、調剤室における医薬品管理、病棟・各部門への医薬品供給・管理、外来患者への医薬品使用・管理、入院患者への医薬品管理、医薬品情報の収集・管理・周知、病院各部門の薬品管理、放射性医薬品の管理、重大な有害事象の予防対応、事故発生時の対応、職員に対する教育・研修 等 手順書に従い実施している。</p> 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば） : <ul style="list-style-type: none"> ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <p>薬剤部 医薬品情報管理室が以下を担当する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①病棟担当薬剤師、調剤・注射担当薬剤師から医薬品の安全使用に係る情報を収集する。 ②緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、添付文書、インタビューフォーム等の医薬品の安全使用に関する情報の収集及び管理を行う。 ③PMDA ((独) 医薬品医療機器総合機構) 等から収集した副作用情報等を必要に応じ、D I ニュース等で院内各部門に提供している (D I : Drug Information)。 ④医薬品の適応外使用及び禁忌に該当する医薬品の仕様については、処方医と情報共有し適切に対応する。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 211回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <p>輸液ポンプや人工呼吸器等、使用頻度の高い医療機器に関して医療安全管理合同研修会を年2回全職員に対し行っている。また、特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる医療機器（人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器等）を中心として各部署の要望に沿った研修を実施している。</p> 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容 : <p>医療機器の始業時や終業時の日常点検と定期点検 点検報告書の作成と保管 外部委託点検の実施依頼</p> 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば） : <ul style="list-style-type: none"> ・ その他の改善の方策の主な内容 : <p>PMDAやm3等の医療専門サイトを毎日確認し、重要なお知らせについては個別にメールが送られるよう登録し、情報の収集を行っている 周知が必要な情報や院内インシデントの事例に対する対策を周知するため、「臨床工学センターからのお知らせ」を作成し院内に配布し、安全性情報の伝達を行っている</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 <p>「福島県立医科大学附属病院医療安全管理指針」により、医療安全管理責任者が、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務を統括するものとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（5名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 <p>薬剤部 医薬品情報管理室が以下を担当する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟担当薬剤師、調剤・注射担当薬剤師から医薬品の安全使用に係る情報を収集する。 ・緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、添付文書、インタビューフォーム等の医薬品の安全使用に関する情報の収集及び管理を行う。 ・PMDA ((独) 医薬品医療機器総合機構) 等から収集した副作用情報等を必要に応じ、D I ニュース等で院内各部門に提供している (D I : Drug Information)。 ・医薬品の適応外使用及び禁忌に該当する医薬品の使用については、処方医と情報共有し適切に対応する。 <ul style="list-style-type: none"> ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・D I ニュースを11回、D I ニュース号外を9回発行した。 ・未承認医薬品、適応外医薬品の使用について医療安全ニュースで院内に周知している。 ・病棟担当薬剤師等からの報告は、未承認医薬品0件、適応外77件、禁忌6件であった。 <ul style="list-style-type: none"> ・担当者の指名の有無（有・無） ・担当者の所属・職種： <p>(所属：薬剤部 , 職種 薬剤師) (所属： , 職種) (所属： , 職種) (所属： , 職種) (所属： , 職種) (所属： , 職種) (所属： , 職種) (所属： , 職種)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無

- ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（・）
- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：入院患者から無作為抽出をし、説明書・同意書点検を5月と11月に実施（令和5年度5月864件、11月736件、合計1,600件）した。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・ <input type="checkbox"/>
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：	
診療録については、「福島県立医科大学附属病院診療録管理要綱」においては医療情報部長を管理責任者とし、管理方法を定め適切な管理を行っている。	
記載内容については、「福島県立医科大学附属病院診療録作成指針」を定め、これに沿った内容となっているかを、診療情報管理士が全ての退院患者の診療録についてチェック表を基に監査し、不備があった内容を各診療科に通知し、医師による修正を行っている。	
また、多職種による診療録の質的監査を行っており、医師診療記録、看護師記載記録、退院時要約についてわかりやすい診療録になっているか等の点検を実施し、点検結果について各診療科にフィードバックを行い、部署内で共有及び今後の対応を検討していただいている。	
診療録（電子カルテ）のサイバーセキュリティ、BCP等の対応として、今年度4月にサーバ、クライアント等のハードウェアの更新を行い最新化を実施している。また、ソフトウェア、VPN機器等の脆弱性情報を収集し、各メーカーと情報共有を行い対策の必要性を隨時検討している。	
診療録（電子カルテ）のデータバックアップについては日々院内及び外部のデータセンターを活用して行っている。	
災害発生時やウイルス感染等が発生した際に対応については「システム障害対応マニュアル」を作成し、対応手順、連絡体制を定め、訓練についても実施し対応手順等の見直しを必要に応じて隨時行っている。	
また、連絡体制については導入ベンダ及び、保守会社、医療機器メーカー等についても一覧化し管理している。	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
・ 所属職員：専従（9）名、専任（0）名、兼任（11）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（7）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名 (注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること	
・ 活動の主な内容：	
1 医療安全管理委員会及び同設置要綱に規定する各種委員会等の運営に関すること	
2 医療安全管理マニュアルの改訂に関すること	
3 インシデント情報の収集・整理に関すること	
4 院内巡回に関すること	
5 医療安全研修会に関すること	
6 医療安全相談に関すること	
7 脅瘍対策に関すること	
8 院内死亡事例の調査に関すること	
9 内部通報窓口に関すること	
10 インフォームド・コンセントの適切な運用に関すること	
1 1 有害事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認に関すること	
1 2 前号に係る患者又はその家族への説明、当該事象の発生原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく職員への必要な指導に関すること	
1 3 医療安全に係る連絡調整に関すること	
1 4 医療安全の確保のための対策の推進に関すること	
1 5 医療安全に資する診療内容のモニタリングに関すること	
1 6 医療安全に関する職員の意識の向上の状況確認に関すること	
1 7 その他医療安全に必要な業務に関すること	
※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（10件）、及び許可件数（10件）	

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
該当案件については、担当部門である「高度管理医療機器・高難度新規医療技術評価室」が診療科より申請を受けることとしている。申請があった場合には、高度管理医療機器・高難度新規医療技術評価委員会を開催し、その意見を踏まえ当該医療技術の提供の適否等について決定している。
当該医療技術の提供後には、診療科に報告を求め、申請内容や委員会の意見に沿って適切に提供されているか担当部門が確認している。
令和5年4月から令和6年3月の間に7回委員会を開催し、新規申請案件9件の適否について審議した。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（28件）、及び許可件数（19件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
未承認医薬品および適応外医薬品の使用の適否等を、申請に応じて審査をおこなう。承認後は使用された場合は、報告書の提出を受ける。また、規程の改訂等を隨時おこなっている。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年335件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年37件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

毎月の死亡事例に対し医療安全管理部長・副部長の医師が電子カルテ・死亡診断書・サマリー等を調査する。判断に迷う場合等は医療安全管理部内で協議し、必要に応じて当該診療科・医療安全管理委員等の意見を参考にする。医療事故に該当する疑いがあると判断された場合は、当該科に医療クオリティ審議依頼書を提出してもらう。調査結果は、翌月の医療安全管理委員会にて報告する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：岡山大学病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：北海道大学病院）・無）

・技術的助言の実施状況

令和5年度より、実地訪問での実施が再開となった。

- 1 働き方改革の観点から委員会開催についてメール審議やオンラインでの開催等、多様な形態について取り入れると良いとされた。
- 2 専従者（医師）が1名のみであり、専従への負担が大きくなっているため、兼任、専任を新たに配置されると更に良いとされた。
- 3 高難度新規医療技術につき評価されたものが、ロボット手術に偏っており、カテーテル手術や他の手術等でもチェックされているか確認することを薦められた。
- 4 高難度新規医療技術部門が未承認医療機器の評価も行う体制になっているが、部門の業務負担の可能性を踏まえ、体制の見直しについて考慮すると良いとされた。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

「病院の患者等相談等受付要領」に従い、患者からの医療安全に関すること・医療事故に関する相談を受け付ける。また、医療連携・相談室で受けた患者からの相談に対して医療安全に関する対応が必要と判断された場合は、医療安全管理部に連絡をいただき、審議が必要な場合は医療クオリティ審議のうえ、結果を患者・家族に報告する。

相談内容と対応については、医療安全管理委員会で報告する。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- 1 外部講師（国立大学法人三重大学附属病院副病院長・医療安全管理部長）による医療安全に関する講話
- 2 医療安全・医薬品、医療機器、人工呼吸器、鎮静に関すること
- 3 医療安全、医薬品、医療機器、感染管理、災害医療、情報セキュリティに関すること
- 4 医薬品安全管理責任者の研修受講状況

2023年11月10日 令和5年度医薬品安全管理責任者等講習会

2024年1月15日 2023年度特定機能病院管理者研修（継続）

5 医療機器新規導入時研修 65回、医療機器定期研修 211回実施

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑯ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

病院管理者

研修名 2023年度特定機能病院管理者研修（継続・6時間）

期間 2024年1月26日

主催者 公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療安全管理責任者

研修名 2023年度特定機能病院管理者研修（初回・13時間）

期間 2023年12月9日

主催者 公益財団法人 日本医療機能評価機構

医薬品安全管理責任者

研修名 2023年特定機能病院管理者研修（継続・6時間）

期間 2024年1月15日

主催者 公益財団法人 日本医療機能評価機構

研修名 令和5年度日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会

期間 2023年11月10日

主催者 一般社団法人日本病院薬剤師会

医療機器安全管理責任者

研修名 2023年度特定機能病院管理者研修（継続 第6回・6時間）

期間 2024年2月26日

主催者 公益財団法人 日本医療機能評価機構

(注) 前年度の実績を記載すること

⑯医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のため講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG:Ver2.0(一般病院 3)を 2022 年 8 月に受審し、条件付認定となった。その後、2023 年 9 月に確認審査を受け、同年 12 月 8 日付けで条件付解除、正式に認定となった。（認定期間：2021 年 12 月 18 日～2026 年 12 月 17 日）今後、改善審査を受審予定。（初回認定 平成 18 年 12 月）

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

受審後の評価に基づき、速やかにホームページ上で公表している。

なお、監査委員会の監査結果については、当院ホームページで公表している。

・評価を踏まえ講じた措置

評価内容を踏まえ、医療安全に向けた取り組みを引き続き継続して行っている。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準	
・ 基準の主な内容	
(1) 医師免許を有している者	
(2) 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有している者	
(3) 組織管理能力等の病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有している者	
・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）	
・ 公表の方法	
福島県立医科大学ホームページで公表	

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）	
・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）	
・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 ）	
・ 公表の方法	
福島県立医科大学ホームページで公表	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
齋野 和則	事務局長	○	選考会議に関する細則第3条第1項第2号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
藤森 敬也	医学部長		選考会議に関する細則第3条第1項第3号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
坂本 祐子	看護学部長		選考会議に関する細則第3条第1項第4号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
矢吹 省司	保健科学部長		選考会議に関する細則第3条第1項第5号に基づく役職指定	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
佐藤 勝彦	福島県病院協会会長		選考会議に関する細則第3条第1項第6号に基づく理事長推薦	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
石川 靖	福島県総務部次長		選考会議に関する細則第3条第1項第6号に基づく理事長推薦	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
大竹 徹	副病院長		選考会議に関する細則第3条第3項第5号に基づく理事長指名	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 病院の運営方針、中期計画、予算及び決算、その他病院の経営計画、運営管理の調整・協議 ・審議の概要の従業者への周知状況 院内インターネットにて周知 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無） 	

合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
竹石 恭知	○	医師	病院長
大竹 徹		医師	副病院長
鈴木 義行		医師	副病院長
濱口 杉大		医師	副病院長
室野 重之		医師	副病院長
二丹 玲子		看護師	副病院長
黒田 純子		薬剤師	薬剤部長
工藤 宇裕		事務職	事務局次長（業務）
菊池 健一		その他（外部）	法人理事（経営担当）

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
・ 公表の方法
- ・ 規程の主な内容
病院の経営に関すること
病院の管理運営に関すること
病院の人事に関すること
病院の予算案の作成及び執行に関すること
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
5名の副病院長が以下の各担当業務において管理者の職務を補佐する
1 総務・企画・経営・臨床倫理・ダイバーシティに関すること
2 業務担当の統括・中央診療施設の機能強化・災害医療に関すること
3 教育・研修・感染制御・地域連携に関すること
4 医療安全・臨床研究・治験・医療情報に関すること
5 医療連携・患者サービス・病院機能改善に関すること
- また、病院長特別補佐1名が、病院長が担当する業務を補佐する。
- その他、法人理事（経営・内部統制担当）を病院の管理及び運営を行うための合議体に参画させ、意見等の聴取を行っている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
院内に「運営・管理部」を設置し、院内及び外部の専門研修等に参加させ、職員の育成に努めている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・ 無			
・ 監査委員会の開催状況：年2回					
・ 活動の主な内容：					
病院の業務状況について管理者等から外部委員へ報告し、委員が意見を述べること。 業務等についてどのように行われているか現場確認を行うこと。					
・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無）					
・ 委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無）					
・ 委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無）					
・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有・無）					
・ 公表の方法：病院ホームページにおいて公表					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
今野 修	福島県医師会	○	下記参照	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	1
安倍 孝祐	弁護士			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	1
田中 明	国立大学法人 福島大学			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	2
委員の選定理由					
今野 修：医療に係る安全管理に関する識見を有する者					
安倍 孝祐：法律に関する識見を有する者					
田中 明：医療を受ける者、その他医療従事者以外の者					

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

地方独立行政法人法第13条第4項及び第5項の規定に基づく監事監査を行うとともに、

平成18年4月1日に監査室を設置し、内部監査を実施している。

・専門部署の設置の有無（・）

・内部規程の整備の有無（・）

・内部規程の公表の有無（・）

・公表の方法

ホームページにて公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に 係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none">病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p>月に1度開催する役員会において、附属病院の管理運営状況を監督している。</p> <p>役員会においては、病院の月次決算を報告しているほか、予算・決算、組織・人事及び医療事故等については随時報告している。</p> <ul style="list-style-type: none">会議体の実施状況（年13回）会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年13回）会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）公表の方法 ホームページにて公表			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（・無）
- ・通報件数（年0件）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（・無）
- ・周知の方法
院内掲示により周知を図っている。